# 寿都町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書

（令和７年度対象）

令和８年９月

寿都町教育委員会

目　次

１　はじめに　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２　実施方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
第１章　教育委員会の活動状況
１　教育委員会の会議の開催状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
２　教育委員会委員の活動状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９
３　各種委員の活動状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
４　令和７年度予算の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
５　教育関係者の表彰等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
第２章　教育行政執行方針に基づく施策に関する点検・評価
１　家庭教育
（１）保護者が学ぶ機会の充実
家庭教育支援事業（ブックスタート）　・・・・・・・・・・・・・・１３
（２）保育園との連携による家庭教育支援の推進
家庭教育支援事業（新１年生応援事業）　・・・・・・・・・・・・１４
２　学校教育
（１）確かな学力の育成
理科専科加配教員の配置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
学習支援員の配置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
英語教育の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
ＩＣＴ機器の活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
（２）豊かな心の育成
道徳教育の充実・・・・　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９
生徒指導の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０
体験的な活動の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１
（３）健やかな体の育成
体力・運動能力の向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２
健康教育の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３
安全教育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
（４）信頼される学校づくり
学ぶ組織と指導力の向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
学校・保護者・地域との連携・・・　・・・・・・・・・・・・・・２６
組織的な学校運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７
働き方改革の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８
３　社会教育
（１）地域による教育活動の推進
放課後子ども教室の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９
二十歳の祝いの実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０
（２）地域人材の育成
地域学校協働本部事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３１

（３）住民の主体的な学習活動の支援
体験活動の機会づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２
（４）グローバル人材の育成
イングリッシュキャンプの開催・・・・・・・・・・・・・・・・・３３
（５）読書環境の整備
文化センター図書室の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３４
４　運動・健康づくりの推進
（１）生涯スポーツ活動の推促進
体育団体会への支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３５
スポーツ教室の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３６
体育施設の利用促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３７
（２）運動による健康づくりの推進
健康運動教室、イベントの実施・・・・・・・・・・・・・・・・・３８
（３）食育と学校給食
食育の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９
食育センターの運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４０
５　文化の伝承・振興
（１）地域文化の振興
総合文化祭の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４１
芸能鑑賞事業の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４２
文化団体連絡協議会への支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・４３
（２）文化財の保存活用
歴史的資源の保存活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４４
６　生涯学習環境
（１）学校関連・社会教育関連・社会体育関連施設の整備
学校施設、社会教育、社会体育施設の管理運営・・・・・・・・・４５
文化センター大規模改修の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・４６
７　全体評価　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４７
資　　料
１　学校の児童生徒・教職員数　・・・・・・・・・・・・・・・・・４８
２　施設利用者数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４９

# はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」（平成２０年４月１日施行）の施行を受け、寿都町教育委員会では、毎年「教育委員会の活動状況に関する点検・評価」を実施し、その結果に関する報告書を寿都町議会に提出するとともに公表をしております。

本年度は、令和７年度事業を対象に教育行政執行方針で示した施策・事業が着実に実施されているか、また、効果的に行われているかなどを点検・評価しました。

今後とも寿都町教育振興基本計画で掲げた理念の実現に向け、評価・点検を通じて、施策の検証と改善を図りながら、効果的な教育行政の推進に努めてまいります。

町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和８年９月

寿都町教育委員会

# 令和８年度　教育に関する事務の点検及び評価に関する実施方針

１　趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和３１年法律第１６２号）第２６条の規定に基づき、寿都町教育委員会の権限に属する事務及び執行の状況について点検及び評価を実施することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、その実施に関して必要な事項を定める。

２　基本的な方針

教育委員会は、毎年度、所管している事務の執行状況について点検及び評価を行い、今後の施策展開の基本的な考え方や方向性を明らかにし、その結果を報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表するものとする。

３　点検及び評価の対象

点検及び評価の対象は、次の各号に掲げるものとする。

（１）教育委員会の活動状況に関する現状

（２）教育行政執行方針等に掲げる各種施策の実施及び達成状況

（３）その他点検及び評価を行うことが必要と認められる事務の実施及び達成の状況

４　点検及び評価の時期

点検及び評価は、前年度の施策について行うものとして、９月までに報告書をまとめ、教育委員会に附議するものとする。

５　点検及び評価の実施方法

（１）教育執行方針等に掲げる各種施策及び主要な事業について、点検・評価調書（別記様式１）を作成する。

（２）教育長は、担当者が作成した点検・評価調書を基に、点検及び評価の結果に関する報告書（構成及び項目は別記）をまとめ、教育委員会に附議するものとする。

（３）点検及び評価の結果については、重点施策展開、予算編成、事務事業の見直し等の事務改善など、教育行政に反映させるものとする。

（４）点検及び評価を行うに当っては、客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者の意見を聞くことができるものとする。

６　点検及び評価結果に関する情報の公表

点検及び評価結果に関する情報については、町議会への報告のほか、町民が容易に入手できる方法で公表に努めるものとする。

別記

○点検評価報告書の構成

1　はじめに
　①あいさつ文
　②点検及び評価に関する実施方針

2　教育委員会の活動状況
　①教育委員会議の開催状況
　②教育委員の活動状況
　③各種委員会等の活動状況
　④予算の状況
　⑤教育関係者の表彰等

3　教育執行方針に基づく点検評価
　①点検・評価調書（別記様式１）による事業毎（別紙項目一覧）の評価
■評価調書の総合評価における評価視点は次のとおりとする。
【視点】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 必要性 | ・　ニーズに適合し且つ行政が行うべき必要性 | | |
| | □必要性は高い | □必要性はやや高い | □必要性は低い |
| 有効性 | ・　町民の理解や満足度が得られているか | | |
| | □得られている | □概ね得られている | □得られていない |
| 効率性 | ・　費用や作業において効率的に実施できたか | | |
| | □効率よく実施 | □概ね効率よく実施 | □効率が悪い |
| 達成度 | ・目的、目標を達成しているか | | |
| | □達成 | □ほぼ達成 | □未達成 |

　②全体評価

4　各種資料
　①学校の児童生徒数、教職員数
　②各施設の利用状況

別記様式１

# 点検・評価調書

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 区　　分 | | | | | 項目番号 |
| 項　　目 | | | | | |
| 事務事業名 | | | | | |
| 事　業　費 | | 円 | 担　当 | | |
| 事務事業の概要 | 目　的 | | | | |
| | 取組の概要 | | | | |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | | | | |
| | 事務事業の課題と改善 | | | | |
| | 総合評価 | 必要性 | （ニーズに適合し且つ行政が行うべき必要性） | | |
| | | | □必要性は高い | □必要性はやや高い | □必要性は低い |
| | | 有効性 | （町民の理解や満足度が得られているか） | | |
| | | | □得られている | □概ね得られている | □得られていない |
| | | 効率性 | （費用や作業において効率的に実施できたか） | | |
| | | | □効率よく実施 | □概ね効率よく実施 | □効率が悪い |
| | | 達成度 | （目的・目標を達成しているか） | | |
| | | | □達成 | □ほぼ達成 | □未達成 |
| 今後の方向性 | | 事　業　規　模 | □拡大 | □やや拡大 | □維持　□やや縮小　□縮小 |
| その他 | | | | | |

別記

事業評価基本項目一覧（令和8年度点検・評価対象　令和7年度事業）

| 事　務　事　業　名 | 備　考 |
|---|---|
| □家庭教育 | |
| ◎保護者が学ぶ機会の充実 | |
| ・ 家庭教育支援事業（ブックスタート） | 1 |
| ◎保育園との連携による家庭教育支援の推進 | |
| ・ 家庭教育支援事業（新1年生応援事業） | 2 |
| □学校教育 | |
| ◎確かな学力の育成 | |
| ・ 理科専科加配教員の配置 | 3 |
| ・ 学習支援員の配置 | 4 |
| ・ 英語教育の推進 | 5 |
| ・ ICT機器の活用 | 6 |
| ◎豊かな心の育成 | |
| ・ 道徳教育の充実 | 7 |
| ・ 生徒指導の充実 | 8 |
| ・ 体験的な活動の充実 | 9 |
| ◎健やかな体の育成 | |
| ・ 体力・運動能力の向上 | 10 |
| ・ 健康教育の推進 | 11 |
| ・ 安全教育の充実 | 12 |
| ◎信頼される学校づくり | |
| ・ 学ぶ組織と指導力の向上 | 13 |
| ・ 学校・保護者・地域との連携 | 14 |
| ・ 組織的な学校運営 | 15 |
| ・ 働き方改革の取組 | 16 |
| □社会教育 | |
| ◎地域による教育活動の推進 | |
| ・ 放課後子ども教室の開催 | 17 |
| ・ 二十歳の祝いの開催 | 18 |
| ◎地域人材の育成 | |
| ・ 地域学校協働本部事業 | 19 |
| ◎住民の主体的な学習活動の支援 | |
| ・体験活動の機会づくり | 20 |
| ◎グローバル人材の育成 | |
| ・ イングリッシュキャンプの開催 | 21 |
| ◎読書環境の整備 | |
| ・ 文化センター図書室の充実 | 22 |

| 事　務　事　業　名 | 備　考 |
|---|---|
| □運動・健康づくりの推進 | |
| ◎生涯スポーツ活動の促進 | |
| ・ 体育団体への支援 | 23 |
| ・ スポーツ教室の開催 | 24 |
| ・ 体育施設の利用促進 | 25 |
| ◎運動による健康づくりの推進 | |
| ・ 健康運動教室、イベントの実施 | 26 |
| ◎食育と学校給食 | |
| ・ 食育の推進 | 27 |
| ・ 食育センターの運営 | 28 |
| □文化の伝承・振興 | |
| ◎地域文化の振興 | |
| ・ 総合文化祭の開催 | 29 |
| ・ 芸能鑑賞事業の開催 | 30 |
| ・ 文化団体連絡協議会への支援 | 31 |
| ◎文化財の保護・活用 | |
| ・ 歴史的資源の保存活用 | 32 |
| □生涯学習環境 | |
| ◎学校関連・社会教育関連・社会体育関連施設の整備 | |
| ・ 学校施設、社会教育、社会体育施設の管理運営 | 33 |
| ・ 文化センター大規模改修の実施 | 34 |

# 第１章　教育委員会の活動状況

| 第１章のポイント |
| --- |
| 教育委員会の会議の開催や活動状況、教育関係者の表彰など、令和７年度に教育委員会が行った活動状況について整理しています。 |

1　教育委員会の会議の開催状況

寿都町教育委員会は４名の委員による定例会議を月１回程度開催し、教育行政の基本方針の決定や、教育に関する規則の制定など、様々な議題について審議します。

| 開　催　期　日 | 付　議　案　件　等 |
|---|---|
| 令和7年4月16日<br>（第１回） | ・令和６年度奨学資金会計の経理状況について<br>・各学校の校務分掌等について<br>・各工事等決定者について<br>・令和６年度社会教育、社会体育関係事業報告について<br>・令和７年度社会教育推進計画について<br>・令和７年度社会体育施設の運営について<br>・寿都町学校運営協議会委員の任命について<br>・寿都町食育センター運営委員会委員の委嘱について<br>・寿都町社会教育委員の委嘱について<br>・寿都町総合文化センター運営審議会委員の委嘱について<br>・寿都町スポーツ推進委員の委嘱について<br>・寿都町運動促進委員の委嘱について<br>・寿都町文化財保護調査委員の委嘱について |
| 令和7年5月23日<br>（第２回） | ・専決処分について（寿都小学校学習支援員の任用）<br>・専決処分について（潮路小学校学習支援員の任用） |
| 令和7年7月6日<br>（第３回） | ・各工事等決定者について<br>・準要保護世帯の認定について<br>・文化センター大規模改修その１について<br>・文化センター大規模改修その２について<br>・小中学校学習用コンピューター取得について |
| 令和7年8月25日<br>（第４回） | ・令和７年度寿都町立学校いじめ問題（第１回アンケート）に関する取組状況について<br>・準要保護世帯の認定について<br>・令和７年度補正予算について<br>・令和７年度教育に関する事務の点検及び評価に関する実施方針について<br>・令和７年度全国学力・学習状況調査の寿都町が独自に結果公表を行なうWebページの二次元コードを「北海道版結果報告書」に掲載することを同意することについて<br>・令和８年度使用　小学校用教科用図書の採択について<br>・令和８年度使用　中学校用教科用図書の採択について<br>・令和６年度寿都町学校給食会計収支決算について |

| | |
|---|---|
| 令和7年9月29日<br>（第５回） | ・各工事等決定者について<br>・寿都町教育委員会教育長職務代理者の指名について<br>・寿都町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書（令和６年度事業対象）について |
| 令和7年12月11日<br>（第６回） | ・各工事等決定者について<br>・専決処分について（給食調理員の任用）<br>・令和８年度寿都町教育行政執行方針の骨子について<br>・令和７年度補正予算について |
| 令和8年2月20日<br>（第７回） | ・各工事等決定者について<br>・令和７年度寿都町立学校いじめ問題（第２回アンケート）に関する取組状況について<br>・令和７年度全国体力・運動習慣等調査況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の公表について<br>・令和７年度寿都町スポーツ表彰受賞者の決定について<br>・令和７年度補正予算について<br>・寿都町学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例の制定について<br>・寿都町学校給食費の管理に関する規則の制定について<br>・寿都町食育センター運営規則の一部を改正する規則について<br>・養護教諭及び栄養教諭の標準的な職務の内容及びその例並びに職務の遂行に関する要綱の一部を改正する要綱について<br>・令和８年度寿都町教育行政執行方針について<br>・令和８年度寿都町教育予算について<br>・令和８年度寿都町学校給食会計予算について<br>・寿都町立学校職員の過重労働による健康障害防止対策取扱要領の策定について |
| 令和8年3月23日<br>（第８回） | ・令和８年度寿都町立学校教職員の人事について<br>・令和８年度寿都町教育委員会職員の人事について |

## 2　教育委員会委員の活動状況

教育委員会委員は、定例会議や各学校の行事、表彰式などに出席するほか、研修会に出席するなどの活動をしています。

主な活動状況

| 開催期日 | 活　動　内　容 | 参加状況 |
|---|---|---|
| 令和7年4月1日 | 教職員辞令交付式 | 星委員　他 |
| 令和7年4月5日 | 潮路小学校入学式 | 星委員　他 |
| 令和7年4月7日 | 寿都中学校入学式 | 森林委員 |
| 令和7年4月8日 | 寿都小学校入学式 | 森林委員 |
| 令和7年6月7日 | 寿都小学校運動会 | 森林委員　他 |
| 令和7年6月14日 | 潮路小学校運動会 | 森林委員 |
| 令和7年6月18日 | 寿都小学校・寿都中学校訪問（学校経営方針） | 星委員　他 |
| 令和7年6月23日 | 潮路小学校・寿都高等学校訪問（学校経営方針） | 森林委員　他 |
| 令和7年7月17日 | 第６０回北海道市町村教育委員研修会 | 星委員　他 |
| 令和7年10月4日 | 寿都中学校学習発表会 | 星委員　他 |
| 令和7年10月17日 | 令和７年度後志管内町村教育委員研修会 | 星委員　他 |
| 令和7年10月25日 | 寿都小学校学芸会 | 山本委員 |
| 令和7年10月26日 | 潮路小学校学習発表会 | 山本委員 |
| 令和7年12月3日 | 寿都高等学校訪問（教職員との懇談） | 星委員　他 |
| 令和7年12月4日 | 寿都小学校訪問（教職員との懇談） | 森林委員 |
| 令和7年12月10日 | 寿都中学校訪問（教職員との懇談） | 星委員　他 |
| 令和7年12月12日 | 潮路小学校訪問（教職員との懇談） | 森林委員　他 |
| 令和8年3月13日 | 寿都中学校卒業式 | 森林委員　他 |
| 令和8年3月19日 | 潮路小学校卒業式 | 森林委員　他 |
| 令和8年3月19日 | 寿都小学校卒業式 | 森林委員　他 |

3　各種委員の活動状況

寿都町教育委員会に設置している主な審議機関は次のとおりです。

| 名　　称 | 委員数 | 開催日 | 主な協議事項 |
|---|---|---|---|
| 社会教育委員<br>（兼　総合文化センター運営委員） | 10 | R7.6.3 | ・令和６年度社会教育・社会体育事業の実績について<br>・令和７年度後志管内社会教育委員連絡協議会について<br>・令和７年度寿都町社会教育推進計画について<br>・寿都町社会教育団体の認定について |
| | | R7.11.26 | ・令和７年度社会教育・社会体育事業の事業経過報告について<br>・令和７年度社会教育・社会体育体育施設の利用状況経過報告について<br>・令和８年社会教育事業について |
| スポーツ推進委員 | 8 | R7.6.10 | ・令和６年度社会体育事業の実績報告について<br>・令和６年度社会体育施設利用状況の実績報告について<br>・令和７年度社会体育事業計画について |
| 食育センター運営委員 | 10 | R7.6.26 | ・令和６年度寿都町学校給食会計収支決算報告について<br>・寿都町食育センター運営について |
| | | R8.2.12 | ・令和８年度年間給食数の取扱いについて<br>・令和８年度寿都町学校給食会計収支予算（案）について<br>・寿都町食育センター運営状況について |
| 文化財保護調査委員 | 6 | | |
| 寿都町歴史文化保存活用委員 | 13 | | |
| 寿都町運動促進委員 | 8 | R7.7.4 | ・令和６年度の事業報告について<br>・令和７年度の社会体育事業について<br>・夏休みラジオ体操会について |
| | | R8.3.9 | ・令和７年度社会体育事業経過報告について<br>・令和７年度社会体育施設の利用状況経過報告について<br>・さわやか元気塾「入門編」について |

## 4　令和７年度予算状況

教育費最終予算の内容（項、目別予算）　（千円）

| 項　及　び　目 | 予　算　額 |
|---|---|
| 1　教育総務費 | 44,462 |
| （1）教育委員会費 | 1,097 |
| （2）事務局費 | 43,365 |
| 2　小学校費 | 70,900 |
| （1）学校管理費 | 45,624 |
| （2）教育振興費 | 25,276 |
| 3　中学校費 | 36,379 |
| （1）学校管理費 | 33,124 |
| （2）教育振興費 | 3,255 |
| 4　社会教育費 | 218,423 |
| （1）社会教育総務費 | 8,710 |
| （2）文化センター費 | 201,675 |
| （3）文化財費 | 8,038 |
| 5　保健体育費 | 105,395 |
| （1）保健体育費 | 6,593 |
| （2）社会体育施設費 | 50,090 |
| （3）給食費 | 48,712 |
| 合　計 | 475,559 |

5　教育関係者の表彰等

（1）寿都町スポーツ表彰

ア 優秀賞

| （氏名及び団体名） | （所属） | （競技種目） |
|---|---|---|
| 種田　望亜 | 寿都水泳少年団 | 水泳 |
| 千葉　遥斗 | 寿都水泳少年団 | 水泳 |
| 山本　実和 | 寿都水泳少年団 | 水泳 |
| 千葉　蓮絆 | 寿都水泳少年団 | 水泳 |
| 三木　心乃香 | 寿都水泳少年団 | 水泳 |
| 石澤　奏奈 | 寿都ソフトテニスクラブ | ソフトテニス |
| 山田　優衣 | 寿都ソフトテニスクラブ | ソフトテニス |
| 石澤　鈴來 | 寿都ソフトテニスクラブ | ソフトテニス |
| 蛯名　陽菜 | 寿都ソフトテニスクラブ | ソフトテニス |
| 菅原　綺乃 | 寿都ソフトテニスクラブ | ソフトテニス |
| 德田　海聖 | 潮路小学校 | バドミントン |

イ 奨励賞

| （氏名及び団体名） | （所属） | （競技種目） |
|---|---|---|
| 川地　優生 | 寿都ＪＢＣ | バドミントン |
| 真壁　希空 | 寿都ＪＢＣ | バドミントン |
| 山本　湊功 | 寿都ＪＢＣ | バドミントン |
| 石井　芙実 | 寿都水泳少年団 | 水泳 |
| 千葉　有紗 | 寿都水泳少年団 | 水泳 |
| 寺門　賢隼 | 寿都水泳少年団 | 水泳 |
| 宮下　紗季 | 寿都ソフトテニスクラブ | ソフトテニス |
| 德田　涼聖 | 潮路小学校 | バドミントン |
| 一戸　奏斗 | 寿都中学校 | 卓球 |
| 岩戸　優成 | 寿都中学校 | 卓球 |
| 岩城　朋孝 | 寿都中学校 | 卓球 |
| 岡田　友理奈 | 寿都高等学校 | 卓球 |
| 寿都ソフトテニスクラブ | 寿都ソフトテニスクラブ | ソフトテニス |
| 寿都中学校男子卓球部 | 寿都中学校 | 卓球 |
| 寿都高等学校女子卓球部 | 寿都高等学校 | 卓球 |

（2）関係団体表彰

・ 寿都町文化団体連絡協議会功績者表彰

ア 文化賞

| （氏名） | （所属） | （功績） |
|---|---|---|
| 寿都中学校器楽部 | 寿都中学校 | リコーダーコンテスト 全国大会花村賞 |

イ 文化奨励賞

| （氏名） | （所属） | （功績） |
|---|---|---|
| 北村　英樹 | 寿都コーラスマリンハート | コーラスの啓蒙普及 |

# 第２章　教育行政執行方針に基づく評価

| 第２章のポイント |
| --- |
| 「令和７年度教育行政執行方針」に沿って教育委員会の活動の点検・評価を行っています。<br>執行方針で示した項目について、実施状況を中心に、事業の成果、現状、課題や今後の方向性を整理しております。 |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区　　分 | 家庭教育 | | | 項目番号 |
|---|---|---|---|---|
| 項　　目 | 保護者が学ぶ機会の充実 | | | 1 |
| 事務事業名 | 家庭教育支援事業（ブックスタート） | | | |
| 事　業　費 | 13,777 円 | 担　当 | 住民学習推進係 | |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目　的 | 保護者に家庭での読み聞かせについての教育を行うとともに、親子の読書活動を通して、子どもの読書活動を推進する素地を育成する。親子の健やかな家庭教育環境のため、子育て支援に関する様々な情報と機会を提供する。本を手渡すことによって家庭での読書習慣づくりを図り、図書室の利用を促進する。 |
| | 取組の概要 | 日時：乳児健診（３ヶ月健診）時<br>会場：寿都町総合文化センター　和室<br>対象：９名（参考：令和６年度１２名）<br>指導：図書運営員<br>内容：絵本２冊贈呈するとともに、健診の合間に絵本の読み聞かせを行い、家庭での読み聞かせ習慣の促進と家庭教育についての情報提供を行う。 |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | 乳幼児がいる保護者の教育の場となり、同時に子どもが本に触れる機会を促進することができた。 |
| | 事務事業の課題と改善 | 乳幼児が本に触れる機会の提供として効果がある。図書室の日常的な利用促進を図る場として、活用方法を検討していく。 |
| | 総合評価 | 必要性：■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い<br>子育てに興味・関心が高い乳児期の保護者へ個別指導ができる場として家庭教育支援と読書環境整備に重要な事業である。 |
| | | 有効性：□有効性は高い　■有効性はやや高い　□有効性は低い<br>多くの家庭が読み聞かせを実施しており、事業の意義を理解している。しかし、図書室の日常的利用にまでは至っていない。 |
| | | 効率性：■効率よく実施　□概ね効率よく実施　□効率が悪い<br>町民課と連携し、乳児健診内で効率よく実施できている。ボランティアの協力を得て、効率的に運営できている。 |
| | | 達成度：■達成　□ほぼ達成　□未達成<br>ほぼ１００％の保護者に個別指導ができる場として、家庭教育・読書の情報を提供できていることから、目的は達成している。 |
| 今後の方向性 | 事　業　規　模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 |
| | | 運営体制の強化とともに、全保護者への個別指導の貴重な機会として維持していく。 |
| そ　の　他 | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区　　分 | 家庭教育 | | | 項目番号 |
|---|---|---|---|---|
| 項　　目 | 保育園との連携による家庭教育支援の推進 | | | 2 |
| 事務事業名 | 家庭教育支援事業（新１年生応援事業） | | | |
| 事　業　費 | ０円 | 担　当 | 住民学習推進係 | |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目　的 | 近年、成長期に必要不可欠な基本的生活習慣の乱れが学習意欲や気力、体力の低下の大きな要因の一つであると指摘されている。生活習慣と子どもの学習・体力には密接な関係があり、家庭での取り組みが重要である旨の啓発をし、子どもの健やかな成長のための基本的生活習慣の確立を目指す。 |
| | 取組の概要 | 日時：令和７年１０月８日（水）<br>※就学時健診と併せて実施<br>会場：寿都町総合文化センター　和室<br>対象：次年度就学児の保護者<br>指導：教育委員会　田村　一茂<br>内容：就学前に行いたい家庭教育について |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | 学校側として、就学前に身につけて欲しい生活習慣を保護者へ説明し、子育てにおける注意点を知る機会となった。また、子どもの体力の向上のため幼少期に必要な運動について理解する機会となった。 |
| | 事務事業の課題と改善 | 就学時検診に併せた開催で、限られた時間内の事業のため必要な情報を的確に伝えることが必要である。 |
| | 総合評価 | |

| | |
|---|---|
| 必要性 | ■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い |
| | 保護者は子育ての要点のことについて学習することができた。 |
| 有効性 | □有効性は高い　■有効性はやや高い　□有効性は低い |
| | 啓発や情報提供は十分に行えているが、保護者の受け止め方や浸透具合に個人差があるので、わかりやすく明確に伝えるように工夫する。 |
| 効率性 | ■効率よく実施　□概ね効率よく実施　□効率が悪い |
| | 就学時検診と併せることで、対象者のほぼ全員に対して指導する機会を持つことができている。 |
| 達成度 | □達成　■ほぼ達成　□未達成 |
| | 保護者への情報提供や啓発を十分行えるよう、学校と協働し進める。 |

| | | |
|---|---|---|
| 今後の方向性 | 事　業　規　模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 |
| | 具体的な行事や評価、保護者の不安等情報交流の時間も確保できるよう検討。 | |
| そ　の　他 | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区　　分 | 学校教育 | | | 項目番号 |
|---|---|---|---|---|
| 項　　目 | 確かな学力の育成 | | | 3 |
| 事務事業名 | 理科専科加配教員の配置 | | | |
| 事　業　費 | ０円 | 担　当 | 総務管理係 | |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目　的 | 専門性を生かした質の高い授業を実践し、学力向上を図ると共に、主体的・対話的で深い学びを実現するため、ＩＣＴ機器を効果的に活用する。<br>個別最適で協働的な学びを充実させ、考察し解決できる力が身に付く授業を理科で実践し、他教科への広がりを図る。 |
| | 取組の概要 | ・寿都小、潮路小３～６学年理科の全授業を専科教員が担当。寿都小配置で、各学校、各学年とも週３時間の授業で年間１０５時間の授業を行なっている。<br>・見通しをもって観察、実験などを行ない,得られた結果を基に考察し結論を導き出すなどの問題解決の活動を充実させる<br>・学びの連続性、見通しが持てる活動を行ない、理科の見方・考え方を高める |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | ・ほっかいどうチャレンジテストの「理科」正答率が、全学年において全道平均と同等又は上回る結果となった。<br>・全国学力学習状況調査のＲ7平均正答率が、全国よりポイント以上上回った。<br>・専科教員の配置により、学級担任の空き時間が生まれ、教材研究や学級事務に取り組む時間が確保された。 |
| | 事務事業の課題と改善 | ・情報収集の場面、考えを発表する場面、意見交流の場面でＩＣＴ機器を効果的に活用し、個別最適で協働的な学びを充実させる。<br>・両小学校兼務の立場を生かし、積極的に小学校間の連携や情報交流を行う。 |
| | 総合評価 | |

| | |
|---|---|
| 必要性 | ■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い |
| | 専科教員の配置により、理科への興味関心が高まっている。 |
| | 学級担任の負担軽減も図られるため、必要性は高い。 |
| 有効性 | ■有効性は高い　□有効性はやや高い　□有効性は低い |
| | 専門的な指導の充実により、学力の向上が図られた。学習意欲の向上、 |
| | 主体的に学習に取り組むことができるようになった。 |
| 効率性 | ■効率よく実施　□概ね効率よく実施　□効率が悪い |
| | 実施計画等を作成し、検証改善を実施。効率良く加配教員を活用して |
| | いる。 |
| 達成度 | ■達成　□ほぼ達成　□未達成 |
| | 実施計画で設定した目標を達成している。 |

| | | |
|---|---|---|
| 今後の方向性 | 事　業　規　模 | □拡大　■やや拡大　□維持　□やや縮小　□縮小 |
| | 専門的な授業の実現と学級担任の業務負担軽減を図る働き方改革の観点から、専科の加配教員の配置を継続して申請していく。 | |
| その他 | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 区　　分 | 学校教育 | | | 項目番号 |
| 項　　目 | 確かな学力の育成 | | | 4 |
| 事務事業名 | 学習支援員の配置 | | | |
| 事　業　費 | 9,989,683 円 | 担　当 | 総務管理係 | |
| 事務事業の概要 目　的 | 一斉指導の中で理解に困難が生じる児童に対し、個別に指導することにより、学習に遅れのある児童をつくらず、学校全体としての基礎的・基本的な学力の定着を図る。 | | | |
| 事務事業の概要 取組の概要 | ・寿都小学校：教員免許等を有資格者　３名配置<br>・潮路小学校：教員免許等を有資格者　２名配置<br>・担任との打合せ及び職員会議へ出席し、支援体制の共有及び協議を行う<br>・学校便り等で、保護者へ活動（指導）内容について周知 | | | |
| 点検・評価結果 事務事業の効果 | ・低学年において支援員がじっくり個別指導することで、児童が安心して学習できており、落ち着いた学習環境が確保されている。<br>・学校便り等で保護者への周知を行うことで、指導体制について評価が高く、期待も大きい。<br>・複式学級においては、学習支援員の補助により、担任の負担が軽減されている。 | | | |
| 点検・評価結果 事務事業の課題と改善 | ・学ぶ意欲や、学力の定着及び向上のため、効果的・機能的な指導体制について、担任との十分な打合せを行い工夫改善を図る。<br>・有資格者の人材確保。 | | | |
| 点検・評価結果 総合評価 | 必要性 | ■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い | | |
| | | 学習に遅れがちな子や苦手意識のある子をつくらないため、一斉指導を補う、個別最適な指導が行える体制（支援員）が必要である。 | | |
| | 有効性 | □有効性は高い　■有効性はやや高い　□有効性は低い | | |
| | | 特に支援が必要な低学年、中学年に配置しているが、Ｔ２の環境に慣れ積極的な学びが損なわれないよう、工夫が必要である。 | | |
| | 効率性 | □効率よく実施　■概ね効率よく実施　□効率が悪い | | |
| | | 低学年、中学年に限らず、高学年においても支援を必要とする児童への支援が行えるよう、時間割等の調整を行う必要がある。 | | |
| | 達成度 | □達成　■ほぼ達成　□未達成 | | |
| | | Ｔ２態勢で支援している現状が、下位層の維持に留まっているため、上位層の向上及び全体的な底上げとなる指導体制が必要である。 | | |
| 今後の方向性 | 事　業　規　模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 | | |
| | 学校の要望と現場の実態を把握しながら、引き続き両小学校に必要な人数を配置できるよう、人材の確保に努める。また、中学校への配置も検討する。 | | | |
| そ　の　他 | | | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区　　分 | 学校教育 | | | 項目番号 |
|---|---|---|---|---|
| 項　　目 | 確かな学力の育成 | | | 5 |
| 事務事業名 | 英語教育の推進 | | | |
| 事業費 | 4,465,400 円 | 担　当 | 総務管理係 | |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目　的 | 外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養うとともに、英語を使える寿都の子を育成する。 |
| | 取組の概要 | ・外国人英語指導員（ＡＬＴ）を１名採用し、小中学校での英語授業の補助に留まらず、高校での授業補助を実施している。<br>・英語検定（英検ジュニア・英検ＩＢＡ・英検）の推奨<br>・年１回英検受験の実施 |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | ・ＡＬＴの活用により授業の幅が広がり、児童生徒の関心・意欲向上につながっている。<br>・英語検定の推奨など、意欲的に英語を学ぶ環境が作られている。<br>・中学校英語検定取得状況（Ｒ８年３月末３級以上取得割合）<br>【１年：０%】【２年：１．０%】【３年：０．１%】 |
| | 事務事業の課題と改善 | ・日常生活や社会と関連づけた授業づくりや活動を実践するため、外国人英語指導員を積極的に活用する。<br>・子どもが学びたいと思える、英語力が身につく授業を展開するため、担当教諭と外国人英語指導員が十分に授業づくりについて打合せする必要がある。<br>・目標設定や達成度について客観的に示される英語検定を積極的に活用する。<br>・３年時の英検３級取得割合を高める。 |
| | 総合評価 | |

| 総合評価 | | |
|---|---|---|
| 必要性 | ■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い | |
| | グローバル社会を生きていくためには英会話の習得が不可欠であり、 | |
| | そのためには地域に英語を広める人材と環境が必要である。 | |
| 有効性 | ■有効性は高い　□有効性はやや高い　□有効性は低い | |
| | 小中高での授業補助により、充実した学習が行えた。ＡＬＴの活用に | |
| | より、英語に親しみを持たせることができた。 | |
| 効率性 | □効率よく実施　■概ね効率よく実施　□効率が悪い | |
| | 学校での英語教育推進は、目標どおり進めることができた。英語指導 | |
| | 員が地域で活躍できる場面を作ることが必要。 | |
| 達成度 | □達成　■ほぼ達成　□未達成 | |
| | 学校での英語・外国語活動において、充実した取組みができた。学習 | |
| | した英語を使う体験活動の充実を図る。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 今後の方向性 | 事業規模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 |
| | 学習した英語を実際に使う体験活動を充実させ、コミュニケーション能力の向上及びグローバル時代に対応できる英語を使える人材の育成を目指す。 | |
| その他 | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 区　　分 | | 学校教育 | | 項目番号 |
| 項　　目 | | 確かな学力の育成 | | 6 |
| 事務事業名 | | ＩＣＴ機器の活用 | | |
| 事　業　費 | | 19,671,740 円 | 担　当 | 総務管理係 |
| 事務事業の概要 | 目　的 | 児童生徒一人一人の学習状況や特性に応じた学びを実現するとともに、ＩＣＴを活用した協働的な学習を推進し、情報活用能力や主体的に学ぶ力を育成するとともに、教職員のＩＣＴ活用能力の向上を図る。 | | |
| | 取組の概要 | ・児童生徒一人一台端末及び校内通信ネットワーク等の環境整備<br>５年を経過した児童生徒及び校務（教職員）用端末の更新<br>・端末を活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現<br>・教職員のＩＣＴ活用能力の向上支援<br>・ネットワーク環境の安全かつ適切な維持及び管理 | | |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | ・児童生徒端末の環境をMicrosoft環境からChromebook環境に更新したことにより、起動時間の短縮や端末管理の一元化により、教職員の授業準備の負担軽減及び授業での活用が円滑になった。<br>・児童生徒用の端末を更新するにあたり、端末の操作方法及び活用法について教職員研修会を実施したことにより、端末更新がスムーズに移行できた。 | | |
| | 事務事業の課題と改善 | ・教職員の活用能力の向上及びＩＣＴを活用した授業の充実を実現するため、学校長のリーダーシップの下、組織的な活用の展開が図られるよう支援する。<br>・ネットワークの安全性を確保し、児童生徒・教職員が安心して学習できる環境を維持するため、情報セキュリティ対策の充実や、情報モラル教育・研修を継続的に実施する必要がある。 | | |
| | 総合評価 | 必要性 | ■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い<br>ＩＣＴを活用した教育活動の充実と、安定したＩＣＴ環境の維持が、<br>今後も継続して必要である。 | |
| | | 有効性 | ■有効性は高い　□有効性はやや高い　□有効性は低い<br>児童生徒の学習状況に応じた指導や、意見共有などの協働的な学習が<br>可能となり、学習活動の充実につながっている。 | |
| | | 効率性 | □効率よく実施　■概ね効率よく実施　□効率が悪い<br>端末更新により、授業・校務の円滑化が図られたが、一方で、機器の<br>更新に伴う経費の増加を踏まえた維持管理方針の整理が必要である。 | |
| | | 達成度 | □達成　■ほぼ達成　□未達成<br>環境は整備できているものの、セキュリティ対策や運用面における<br>支援や迅速な対応など課題が残る。 | |
| 今後の方向性 | | 事　業　規　模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 | |
| | | ＩＣＴ分野では、専門的な知識や技術、また端末やネットワーク環境の不具合などに即応が望まれるため、専門的な知識や技術を有する職員の配置を検討する必要がある。 | | |
| その他 | | | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 区　　分 | 学校教育 | | | 項目番号 |
| 項　　目 | 豊かな心の育成 | | | 7 |
| 事務事業名 | 道徳教育の充実 | | | |
| 事　業　費 | 0円 | 担　当 | 総務管理係 | |
| 事務事業の概要 目的 | 道徳教育では、学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などを養う。道徳の時間においては、これらを各教科等と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、進化、統合し、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、道徳的実践力を育成する。 | | | |
| 事務事業の概要 取組の概要 | ・「道徳」の時間（小1 34ｈ、小2～中3 35ｈ）を要として、「決まり」「礼儀」「自分の役割や自覚」「命の大切さ」「公徳心」「協調性」などを学習<br>・外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動のそれぞれの特質に応じながら、学校の教育活動全体を通じて学習<br>・外部人材をゲストティーチャーとして活用 | | | |
| 点検・評価結果 事務事業の効果 | ・道徳の時間を参観週間に充てるなど、家庭と連携して道徳教育を推進する取り組みが定着してきており、保護者が学習内容や指導方法を把握できることにより家庭と連携した道徳教育の推進ができた。<br>・小、中学校共に、道徳教育推進リーダーを位置づけ、年間計画を立て学校全体で取り組んでいる。 | | | |
| 点検・評価結果 事務事業の課題と改善 | ・児童生徒が日常の体験やそのときの考え方、感じ方を生かした道徳的価値の理解を深めたり、自己を見つめたりする指導の工夫が必要である。 | | | |
| 点検・評価結果 総合評価 | 必要性 | ■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い | | |
| | | 現代社会で子ども達が直面する多様な価値観や複雑な問題に対応し | | |
| | | 他者とより良く生きていくため、道徳教育の重要性は増している。 | | |
| | 有効性 | □有効性は高い　■有効性はやや高い　□有効性は低い | | |
| | | 価値観や考え方など、一人ひとりの内面に触れることのできる授業で | | |
| | | 道徳的価値や自覚、生き方等についての思考などに効果がある。 | | |
| | 効率性 | □効率よく実施　■概ね効率よく実施　□効率が悪い | | |
| | | 教員だけでなく、地域住民を外部講師として活用した授業を展開する | | |
| | | など、題材や時期、人材の確保等、年間で効率良く取り組んでいる。 | | |
| | 達成度 | □達成　■ほぼ達成　□未達成 | | |
| | | 道徳教育推進リーダーを中心とした、評価方法についての具体的な研 | | |
| | | 修、取り組みについては課題が残っている。 | | |
| 今後の方向性 | 事　業　規　模 | □拡大　■やや拡大　□維持　□やや縮小　□縮小 | | |
| | 道徳教育推進リーダーの育成 | | | |
| その他 | | | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区　　分 | 学校教育 | | | 項目番号 |
|---|---|---|---|---|
| 項　　目 | 豊かな心の育成 | | | 8 |
| 事務事業名 | 生徒指導の充実 | | | |
| 事　業　費 | 0円 | 担　当 | 総務管理係 | |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目　的 | 成長・発達を促進する側面と現実的な問題解決を図る側面から、一人ひとりの児童生徒の人格の価値を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めるように指導援助する。 |
| | 取組の概要 | ・いじめ問題への対応（各校、年３回いじめアンケートによる実態把握）<br>・ネットパトロールを活用したネット上のトラブルの早期発見・早期対応<br>・教育、健康相談の実施（子供理解支援ツール「ほっと」の活用）<br>・生活リズム調査の実施<br>・家庭訪問の実施 |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | ・定期的な健康相談や調査等の実施により、児童生徒の状態把握ができると共に日常的に見取る材料として活用できる。<br>・いじめ調査及び「ほっと」の活用により、児童生徒の心に寄り添うことで、いじめや不登校の未然防止に繋がっている。 |
| | 事務事業の課題と改善 | ・「児童生徒理解・支援シート」を活用した不登校児童生徒の理解に努め、寄り添う支援体制の整備<br>・教職員と児童生徒及び家庭との信頼関係を構築する取り組み<br>・教職員全体が情報を共有し、学校全体で取り組む意識の向上 |
| | 総合評価 | |

| 総合評価 | | |
|---|---|---|
| 必要性 | ■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い | |
| | 教職員一人ひとりが丁寧・適切に指導を行い、学校全体で組織的に取り組まなければならい。 | |
| 有効性 | □有効性は高い　■有効性はやや高い　□有効性は低い | |
| | 若い教職員が多いため、実践の中で経験を積んでおり、管理職の指導や、ベテラン教員の的確な助言とリードが必要である。 | |
| 効率性 | □効率よく実施　■概ね効率よく実施　□効率が悪い | |
| | 定期的な調査等の実施により、児童生徒の困り感や問題行動に一早く対応できており、組織的・計画的な生徒指導に繋がっている。 | |
| 達成度 | □達成　■ほぼ達成　□未達成 | |
| | 児童生徒一人ひとりに対し、丁寧に対応・指導しようという学校全体の姿勢が小中学校の児童生徒の言動に表れている。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 今後の方向性 | 事　業　規　模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 |
| | 児童生徒の状態把握を継続し、抱えている問題を見落とすことなく、丁寧・適切な指導を行う。また、問題が発生した場合は危機管理マニュアルに遵守した、組織的な対応に努める。 | |
| その他 | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区　　分 | 学校教育 | | | 項目番号 |
|---|---|---|---|---|
| 項　　目 | 豊かな心の育成 | | | 9 |
| 事務事業名 | 体験的な活動の充実 | | | |
| 事　業　費 | 354,000 円 | 担　当 | 総務管理係 | |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目　的 | 地元にある豊かな自然を体験したり、ふるさとの様々な職業、人達に触れ学習することにより、郷土愛や人や自然、職業に対する思いなど、豊かな人間性、職業観を育んでいく。 |
| | 取組の概要 | ・寿都小学校では「ふうタイム」、潮路小学校では「おしょろタイム」と称して総合的な学習の時間を中心に、各教科の中でふるさとについて学習<br>・中学校の総合的な学習の時間では、全学年で地域の魅力や観光資源等を活用しふるさと学習を実施<br>・コミュニティスクール コーディネーターによる学校支援 |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | ・寿都町の特徴や歴史、産業などを学ぶことにより、自分の住むまちに対する興味、関心を高めることができた。<br>・町内の関係機関と連携し、幅広い職業について学習を進めることで、地域と学校、児童生徒と住民のつながりが深まった。 |
| | 事務事業の課題と改善 | ・学んだ成果の活用について、住民学習推進係と連携した協議が必要。<br>・自ら課題を見つけ主体的に学び、より良く問題を解決できる資質と能力を育成するため、体験学習の工夫と限られた人材等に頼らない幅広い学習を検討する。 |
| | 総合評価 | 必要性：■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い<br>課題発見、解決のための調べ学習など一連の取り組みにおいて、自ら学び考える、問題解決能力などを育成するために重要である。<br>有効性：□有効性は高い　■有効性はやや高い　□有効性は低い<br>身近な題材による意欲的な学習と地域との触れ合いの効果はあるが、学んだ成果を活用する場面があることで、より学びが深まる。<br>効率性：□効率よく実施　■概ね効率よく実施　□効率が悪い<br>年間計画に沿って計画的に学習を進めることができた。各学年の計画が効果的で持続的な学びになっているのか、検証しが必要。<br>達成度：□達成　■ほぼ達成　□未達成<br>各学年において、地域の協力を得ながら取り組んだことで、計画的な学びができた。 |
| 今後の方向性 | 事業規模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 |
| | 新学習指導要領を見据えた学習計画の検討が必要 | |
| その他 | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区　　分 | 学校教育 | | | 項目番号 |
|---|---|---|---|---|
| 項　　目 | 健やかな体の育成 | | | 10 |
| 事務事業名 | 体力・運動能力の向上 | | | |
| 事　業　費 | ０円 | 担　当 | 総務管理係 | |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目　的 | 学習する上で不可欠な健康な心と体を養うため、家庭と連携しながら基本的生活習慣の確立と体力・運動能力の向上を図る。 |
| | 取組の概要 | ・全国体力・運動能力、運動習慣調査を実施し現状を把握<br>・全国学力・学習状況質問紙調査で生活習慣の状況を把握<br>・体育の時間を活用した「新体力テスト」の実施、朝や休憩時間など授業以外の時間を活用し、縄跳びやマラソン等、年間を通じ各校工夫した取り組みを実施<br>・中学校では、部活動の中で積極的に体力アップメニューを行うとともに、体育の時間にマラソン記録会を行い基礎体力の向上を図る |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | 全国体力・運動能力、運動習慣調査　８種目実施中、全国平均を上回ったもの<br>【小学５年男子】５種目（上体起こし、反復横跳び、シャトルラン、ソフトボール投げ）<br>【小学５年女子】７種目（握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、シャトルラン、立ち幅跳び、ソフトボール投げ）<br>【中学２年男子】２種目（握力、ハンドボール投げ）<br>【中学２年女子】４種目（握力、上体起こし、シャトルラン、ハンドボール投げ）<br>【質問紙調査】・運動が好き　小男100％、小女83.3％、中男100％、中女60％ |
| | 事務事業の課題と改善 | ・体育の授業における運動量の確保。<br>・家庭でのテレビやゲーム等に触れる時間と、体を使う遊びや運動機会のバランスについて家庭を巻き込んだ取り組みの検討。<br>・調査必須の小５年・中２年の実施に限らず、全学年実施し個人の成果を経年比較することで意欲や成果につなげる取り組みの実施。 |
| | 総合評価 | |

| 総合評価 | | |
|---|---|---|
| 必要性 | ■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い | |
| | 健康でたくましい心身の育成と体力・運動能力向上のためには、計画 | |
| | 的・継続的な取組が不可欠である。 | |
| 有効性 | □有効性は高い　■有効性はやや高い　□有効性は低い | |
| | 特に小学校で様々な活動を行っているが、児童の取組方に差があり結 | |
| | 果につながりにくい。 | |
| 効率性 | □効率よく実施　■概ね効率よく実施　□効率が悪い | |
| | 限られた時間に工夫して取り組んだことで、一部体力向上が図られた。 | |
| | 便り等で、取り組みの様子を具体的に保護者へ周知することができた。 | |
| 達成度 | □達成　■ほぼ達成　□未達成 | |
| | 体力・運動能力の向上には、計画的に関係機関と連携するとともに、 | |
| | 組織的に改善のための協議を重ねる必要がある。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 今後の方向性 | 事　業　規　模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 |
| その他 | ・地域での少年団活動や地域活動等による体力・運動能力向上の取り組みの拡充。 | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区　　分 | 学校教育 | | | 項目番号 |
|---|---|---|---|---|
| 項　　目 | 健やかな体の育成 | | | 11 |
| 事務事業名 | 健康教育の推進 | | | |
| 事　業　費 | 991,101 円 | 担　当 | 総務管理係 | |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目　的 | 児童生徒に、生涯にわたり健康で充実した生活を送る能力を身に付けさせるため、教科「保健体育」で心身の健康や安全、全般についての知識を習得させると共に、特別活動や日常的指導を通じて健康な生活に関する態度を習得させる。 |
| | 取組の概要 | ・ライフスキル教育、保健教育の実践<br>・「早寝、早起き、朝ごはん」活動の推進<br>・歯磨き指導、フッ化物洗口（小学校全学年の希望者）の実施<br>・薬物乱用防止教室の実施<br>・家庭との連携による生活リズム調査の実施<br>・食育指導の実施 |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | ・発達段階に応じた健康教育の実施により、自分の心と体についての知識を得ることにより、周囲の友達や家族の健康について考え、自分とその周りを大切にしようとする意識が育まれている。<br>・歯磨き指導は、直接、学校歯科医からブラッシング指導を受けることにより、虫歯予防の意識向上が図られている。 |
| | 事務事業の課題と改善 | 健康で充実した生活を送ることは、家庭と密接に関わることであり、家庭へのアプローチを含め、家庭とより連携を強化した取り組みが必要である。 |
| | 総合評価 | 必要性：□必要性は高い　■必要性はやや高い　□必要性は低い<br>学校で取り組むべきことを精査し、家庭と連携した改善のための取り組みを見直す。<br>有効性：□有効性は高い　■有効性はやや高い　□有効性は低い<br>成果が見えにくい分野であり、計画的に検証、取り組みの改善が必要である。<br>効率性：■効率よく実施　□概ね効率よく実施　□効率が悪い<br>フッ化物洗口は学校と連携し、安定して実施されている。<br>達成度：□達成　■ほぼ達成　□未達成<br>現在の取り組みは継続的に行われているが、目的達成のためには家庭との連携が重要である。 |
| 今後の方向性 | 事業規模：□拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小<br>児童生徒の健康管理の面からも現在の取り組みを継続するとともに、役場町民課健康づくり係の協力を得ながら、各指導教育に取り組む。 | |
| そ　の　他 | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区　　分 | 学校教育 | | | 項目番号 |
|---|---|---|---|---|
| 項　　目 | 健やかな体の育成 | | | 12 |
| 事務事業名 | 安全教育の充実 | | | |
| 事　業　費 | 0円 | 担　当 | 総務管理係 | |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目　的 | 日常生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、自他の生命尊重を基盤として、生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うと共に、進んで安全で安心な社会づくりに参加し、貢献できるような資質や能力を養う。 |
| | 取組の概要 | ・交通安全教室の実施<br>・一日防災学校の実施<br>・避難訓練（火災・地震津波・不審者）の実施<br>・安全マップ、防災マニュアルの見直し、改善<br>・ネットトラブル防止教室の実施<br>・不審者対応指導 |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | ・関係機関と連携した避難訓練の実施により、実効性のある訓練が実施できている（小中学校で一日防災学校実施）<br>・通学路や生活地域の安全確保のため、安全マップを更新することにより、子どもの意識啓発に繋がった。 |
| | 事務事業の課題と改善 | ・地域と連携し、災害を想定した実効性ある訓練にするため、首長部局との連携が必要。<br>・ネットトラブルを未然防止するため、継続した啓発教室の実施<br>・危機管理マニュアル及び安全マップの定期的な見直し |
| | 総合評価 | 必要性：■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い<br>学校でやるべきことの精査及び関係機関と連携した取り組みが必要。<br>トラブルに巻き込まれないよう、啓発が不可欠である。 |
| | | 有効性：□有効性は高い　■有効性はやや高い　□有効性は低い<br>訓練の訓練にならないよう、実効性のある取り組を行うことで、意識啓発に繋げる実践が必要。 |
| | | 効率性：■効率よく実施　□概ね効率よく実施　□効率が悪い<br>限られた年間計画の中で、効率よく実施されている。 |
| | | 達成度：□達成　■ほぼ達成　□未達成<br>家庭・地域との連携を強化し、トラブルの未然防止、実効性のある訓練を実施する取り組みが必要である。 |
| 今後の方向性 | 事　業　規　模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 |
| | 地域と共に災害を想定した訓練の実施を検討。 | |
| その他 | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区分 | 学校教育 | | | 項目番号 |
|---|---|---|---|---|
| 項目 | 信頼される学校づくり | | | 13 |
| 事務事業名 | 学ぶ組織と指導力の向上 | | | |
| 事業費 | 344,783 円 | 担当 | 総務管理係 | |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目的 | 教員の職責を遂行するにあたり、絶えず研修に努め信頼と指導力のある教員の育成を図ると共に、経験年数に応じて求められる資質や能力を培うため、研修に参加しやすい環境を整える。 |
| | 取組の概要 | ・校内研修、町内研修に参加（他町村への視察を行なわず、町内での研修に注力した。）<br>・後志教育研修センター研修講座参加<br>・町教育関係連絡協議会（教育課程部会・生徒指導部会・進路指導キャリア教育部会・研修，研究部会・英語教育部会・学校保健部会・学校事務部会） |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | ・研修や研究を通じて実証や検証を行ない、個人のスキルアップや教職員全体の資質の向上が図られた。<br>・今年度から新たに町教育関係連絡協議会としてスタートし、教職員の専門的力量の向上や指導法の共通化、小中高連携の強化が図られた。 |
| | 事務事業の課題と改善 | ・教職員が相互に高め合うために、研修の成果を個人だけでなく、学校全体に活かす校内体制づくりが求められる。<br>・部会を細分化したことにより、各部会で行なうことをより明確にし、実施していく必要がある。<br>・研修参加に限らず、教員間や学校間でも主体的に学ぶ意欲が必要である。 |
| | 総合評価 | |

| 総合評価 | | |
|---|---|---|
| 必要性 | ■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い | |
| | 教員として求められる資質・能力の向上のため、研修に参加しやすい環境整備が必要である。 | |
| 有効性 | □有効性は高い　■有効性はやや高い　□有効性は低い | |
| | さまざまな取り組みを実践しているが、取り組みが形骸化しないよう目指す方向性を見据えておくことが必要である。 | |
| 効率性 | ■効率よく実施　□概ね効率よく実施　□効率が悪い | |
| | 学校運営に支障のないよう、工夫して計画的に研修へ参加し、又実施して | |
| 達成度 | □達成　■ほぼ達成　□未達成 | |
| | 各学校において計画的な研修参加の機会は保たれているが、研修成果を学校全体で共有する体制に課題が残る。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 今後の方向性 | 事業規模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 |
| | 教員の資質・指導力の向上を図るため、多くの研修に参加・実施できるよう今後も継続して補助していく。 | |
| その他 | 学校経営研究会事業補助、町教育関係連絡協議会補助 | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区分 | 学校教育 | | | 項目番号 |
|---|---|---|---|---|
| 項目 | 信頼される学校づくり | | | 14 |
| 事務事業名 | 学校・保護者・地域との連携 | | | |
| 事業費 | 614,880円 | 担当 | 総務管理係 | |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目的 | 子どもの教育には、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、相互に連携することが重要なため、学校においては保護者や地域の様々な意見や要望を的確にとらえ学校運営に反映させ、地域に開かれた学校づくりを目指していく。 |
| | 取組の概要 | ・学校運営協議会の運営、推進<br>・ＰＴＡ活動、学校評価を通じ組織的、継続的に運営の改善を図る<br>・各種便りやホームページでの情報発信により、保護者や地域住民に説明責任を果たすと共に、学校への信頼、理解を求める取り組みを行う<br>・地域学校協働本部事業による学校支援ボランティアの活用 |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | ・学校運営協議会での「熟議」を通して、地域の様々な考えを学校運営に反映することができた。<br>・学校評価の結果から見直しや改善を図る際、地域の学校であるという意識が学校に出てきた。<br>・各種便りやＨＰ等で積極的に情報を発信することにより、学校への信頼、理解を求めることができた。また、町民の行事への関心を高めることができた。 |
| | 事務事業の課題と改善 | ・ＰＴＡ活動の活性化<br>・学校（子どもたち）が地域の力になる場面づくり<br>・地域の各関係機関とのネットワーク化、パイプづくり<br>・学校支援ボランティアの発掘、人材確保 |
| | 総合評価 | |

| 総合評価 | | |
|---|---|---|
| 必要性 | ■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い | |
| | 過疎化傾向にある本町においては、地域コミュニティの核として学校 | |
| | がその機能を果たすことで、地域の教育力を持続させる。 | |
| 有効性 | □有効性は高い　■有効性はやや高い　□有効性は低い | |
| | 各校のＰＴＡ活動及び学校運営協議会が、学校の教育活動に理解と | |
| | 共通認識を持ち、学校を支援できている。 | |
| 効率性 | □効率よく実施　■概ね効率よく実施　□効率が悪い | |
| | 各学校において計画的に実施できた。またＰＴＡ活動を効率良く実施 | |
| | することができた。 | |
| 達成度 | □達成　■ほぼ達成　□未達成 | |
| | 地域資源や人材の活用は安定しているが、人材が固定化している。 | |
| | | |

| | | |
|---|---|---|
| 今後の方向性 | 事業規模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 |
| | 学校課題と地域課題の共通する課題を洗い出し解決する仕組み（ネットワーク・パイプ）づくり。 | |
| その他 | 町ＰＴＡ連合会事業補助 | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区分 | 学校教育 | | | 項目番号 |
|---|---|---|---|---|
| 項目 | 信頼される学校づくり | | | 15 |
| 事務事業名 | 組織的な学校運営 | | | |
| 事業費 | 377,260 円 | 担当 | 総務管理係 | |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目的 | 多様化・複雑化する子どもの対応や学校に求められる役割が増える中で、特色ある自律した学校を目指すために、校長のリーダーシップの元に教職員が一致協力し、組織的、機動的な学校運営を行う。 |
| | 取組の概要 | ・校長会、教頭会の開催<br>・校務分掌の整理、合理化（校務支援システム「Ｃ４ｔｈ」の活用等）<br>・教職員間の連携（ワンドライブによる情報の共有化）<br>・教職員の健康診断、ストレスチェックの実施 |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | ・各学校において校務分掌の整理が図られ、適切な役割分担と連携により機能的になった。<br>・職員会議のペーパーレス化等により、会議時間が短縮された。<br>・校務支援システムの活用により、校務に係る時間が短縮された。<br>・学校運営協議会委員の意識と、住民の学校に対する関心も高まってきている。 |
| | 事務事業の課題と改善 | 限られた人数・資源の中で学校教育目標の達成に向けて、管理職に対して的確な指導・助言を行ない、組織的かつ機動的な学校運営（マネジメント）となるよう努める。 |
| | 総合評価 | 必要性：■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い<br>教職員一人ひとりの指導力、知識、情報を学校全体で共有し総合的に児童生徒や保護者と向き合うことが最も必要である。 |
| | | 有効性：■有効性は高い　□有効性はやや高い　□有効性は低い<br>会議のスリム化、校務分掌の整理など各校の取り組みは合理的に進められている。 |
| | | 効率性：□効率よく実施　■概ね効率よく実施　□効率が悪い<br>校務支援システムにより校務にかかる時間を短縮でき、教材研究や児童生徒と向き合う時間の確保に繋がった。 |
| | | 達成度：□達成　■ほぼ達成　□未達成<br>３校が独自性を持ちながらも、寿都町が目指す教育の方向性に向けて進むためには、教職員一人ひとりの意識向上、学校力向上が必要。 |

| | | |
|---|---|---|
| 今後の方向性 | 事業規模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 |
| | | |
| その他 | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区　　分 | 学校教育 | | | 項目番号 |
|---|---|---|---|---|
| 項　　目 | 信頼される学校づくり | | | 16 |
| 事務事業名 | 働き方改革の取組 | | | |
| 事　業　費 | 5,588,759 円 | 担　当 | 総務管理係 | |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目　的 | 教育目標の実現に向けて、限られた教職員、物的資源を効果的に活用しながら、必要な教育活動に注力するため、学校運営の考え方の下、教職員一人一人が「働きやすさ」と「働きがい」のある学校づくりを支援する。 |
| | 取組の概要 | 寿都町立学校における働き方改革行動計画（第３期）に基づく取組<br>・校務効率化を推進するためのＩＣＴ環境整備<br>・会議のスリム化等による働き方改革の推進（マイクロソフト３６５、勤退管理システムの活用）<br>・働き方改革の意識を高める時間外在校時間の管理・指導・公表<br>・コミュニティ・スクールコーディネーターの配置<br>・学校閉庁日の設定・定時退勤日の設定<br>・校務分掌の平準化<br>・休暇処理簿等の一元管理 |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | ・時間外在校時間の管理・公表を継続することにより削減が実現した。<br>教職員月平均　３２時間１４分（前年度比　△１時間４４分）<br>・学校現場において働き方改革の意識が向上したことにより、校務分掌の平準化や学校徴収金の口座振替等への移行など、業務の見直しによる校務効率化が図られた。 |
| | 事務事業の課題と改善 | ・時間外在校時間を管理・公表することで時間外が削減できる一方で、業務の持ち帰りによる実質的な勤務時間の増加が懸念されるため、業務内容や業務実態を把握し、適正な業務量を確保するとともに、持ち帰り業務への対策の具体化が必要である。 |
| | 総合評価 | 必要性：■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い<br>教職員の業務負担を軽減し、教育活動の充実を図るため、継続的な取組が必要である。 |
| | | 有効性：□有効性は高い　■有効性はやや高い　□有効性は低い<br>時間外勤務の縮減に一定の効果がある一方、持ち帰り業務の実態把握が課題である。 |
| | | 効率性：□効率よく実施　■概ね効率よく実施　□効率が悪い<br>業務の見直しやＩＣＴの活用により、業務の効率化が図られている。 |
| | | 達成度：□達成　■ほぼ達成　□未達成<br>時間外勤務の縮減に一定の成果が見られるが、持ち帰り業務を含めた勤務実態の把握と、さらなる業務負担の軽減が必要である。 |

| | | |
|---|---|---|
| 今後の方向性 | 事　業　規　模 | □拡大　■やや拡大　□維持　□やや縮小　□縮小 |
| | 寿都町立学校における働き方改革行動計画（第３期）が令和８年度末に更新時期を迎えるため、国や北海道の動向を踏まえ、中学校の部活動指導方針を含め、計画を見直し、成果のある計画を策定する。 | |
| そ　の　他 | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区　　分 | 社会教育 | | | 項目番号 |
|---|---|---|---|---|
| 項　　目 | 地域による教育活動の推進 | | | 17 |
| 事務事業名 | 放課後子ども教室の開催 | | | |
| 事　業　費 | 73,090 円 | 担　当 | 住民学習推進係 | |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目　的 | 放課後や週末等に総合文化センターや総合体育館を利用して、子ども達の安全安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の大人がさまざまな体験活動を提供し、子ども達と触れ合うことで地域コミュニティの充実を図る。 |
| | 取組の概要 | 期間：通年１２回<br>会場：総合文化センター、総合体育館<br>対象：小学生<br>参加：延べ１１３名（参考：令和６年度１５３名）<br>内容：雪中お宝さがし（みんなで雪だるま）<br>ものづくり（マグネタクトアニマルをつくってあそぼう！ちりめんモンスター図鑑を作ろう！十五夜・お月見とウサギカードをつくろう！飛行機を飛ばそう！プラバン工作） |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | 子どもが学校や家庭ではできない体験活動を行う場として、工作や集団遊びなどを実施し、子どもの生きる力を育んだ。 |
| | 事務事業の課題と改善 | 日中の限られた時間の中での事業のため、参画できる地域のボランティアが少ない。事業周知を強化し、携わることのできる町民を増やしていく。 |
| | 総合評価 | |

| | |
|---|---|
| 必要性 | ■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い |
| | 放課後の安全安心な居場所づくりや子どもの自主性・創造性等の人間性を育む事業として必要性は高い。 |
| 有効性 | ■有効性は高い　□有効性はやや高い　□有効性は低い |
| | 放課後の子どもの見守り、遊びやさまざまな体験活動を通しての子どもを育成する場として、有効な事業である。 |
| 効率性 | ■効率よく実施　□概ね効率よく実施　□効率が悪い |
| | コーディネーターや学校・放課後児童クラブと連携を図り、効率よく実施している。 |
| 達成度 | □達成　■ほぼ達成　□未達成 |
| | 体験活動メニューとしては充実した内容であり達成度は高いが、居場所づくりとして、地域人材の参画があまり得られていない状況にある。 |

| | | |
|---|---|---|
| 今後の方向性 | 事　業　規　模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 |
| | 子どもの放課後活動の充実を図るため、事業を継続していく。事業周知を強化し、地域人材の発掘を図る。 | |
| その他 | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区　　分 | 社会教育 | | | 項目番号 |
|---|---|---|---|---|
| 項　　目 | 地域による教育活動の推進 | | | 18 |
| 事務事業名 | 二十歳の祝い | | | |
| 事　業　費 | 81,910 円 | 担　当 | 住民学習推進係 | |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目　的 | 寿都で生まれ育った子どもが社会の仲間入りを果たすことへのお祝いをすると同時に、社会人としての自覚や礼儀を指導し、町への郷土愛を育む。また、式の準備を自分達で準備することで、地域の活動へ参画するリーダー性を育成する。 |
| | 取組の概要 | 日時：令和８年１月１１日（日）１４：００～<br>会場：寿都町総合文化センター　ホール<br>対象：当年度成人する学齢で町内小中学校卒業生及び町内在住者（対象１７名）<br>参加：新成人１０名（参考：令和５年度１４名）<br>内容：式典 |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | 町を挙げて成人式を開催することで、町に帰って来たり同級生が一堂に会する機会となり、町に育まれてきたことを振り返ることで愛郷心を育んだ。<br>成人としての自覚や責任感について指導することができた。 |
| | 事務事業の課題と改善 | 実行委員会形式で開催しているが、高校卒業後、町に残る人材が少なく、実行委員の担い手が不足している。しかし、一方的に町が対象者へ提供するものでなく、自ら作りあげる式典にすることで、当事者意識や人材育成、さらには町や式典に対する思い入れも大きくなるため、町外に滞在する対象者も実行委員として担えるシステムを検討し、実行委員会形式を継続する。 |
| | 総合評価 | 必要性：■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い<br>町で生まれ育った者を祝う機会として、また新たな社会人としての責任感や自覚を指導する機会として必要性は高い。 |
| | | 有効性：■有効性は高い　□有効性はやや高い　□有効性は低い<br>生まれ育った町に対して想い入れを持つきっかけではあるが、参加率が低いことから、有効性は低下しつつある。 |
| | | 効率性：□効率よく実施　■概ね効率よく実施　□効率が悪い<br>実行委員会形式で実施し、実行委員が作り上げる事業となっているが、委員の担い手が不足している。 |
| | | 達成度：□達成　■ほぼ達成　□未達成<br>人材育成や愛郷心を育む事業として実施しているが、参加率の低さや実行委員の担い手不足という課題が残る。 |
| 今後の方向性 | 事　業　規　模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 |
| | | 二十歳の祝い対象者が実行委員として主体性を持って式典づくりが行えるシステムを継続する。 |
| そ　の　他 | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区　　分 | 社会教育 | | 項目番号 |
|---|---|---|---|
| 項　　目 | 地域人材の育成 | | 19 |
| 事務事業名 | 地域学校協働本部事業 | | |
| 事　業　費 | 77,000 円 | 担　当 | 住民学習推進係 |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目　的 | 地域の教育力を学校の教育活動に活かし、子ども達に充実した教育活動を進める。また、参加した地域人材が、子どもを通した地域活動の担い手になる。 |
| | 取組の概要 | 学校に対するボランティアの派遣延べ回数　計２０４回<br>朝の読み聞かせ：６６回　水泳授業　：３０回　スキー　：１８回<br>柔道：１５回　家庭科授業：　７回　総合・生活科：４２回<br>道徳：　２回　音楽　：　２回　学級活動　：　３回<br>理科：　２回　社会　：１０回　保健　：　５回<br>国語：　１回　体育　：　１回 |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | 子ども達が地域の大人と向き合いふれあう環境ができ、学校での充実した教育活動を展開することができた。ボランティアにとっては、学校への派遣を通して地域づくりへ参画する人材育成となった。ＣＳの導入で、各校にコーディネーターを配置したことで地域参画の幅が広がった。 |
| | 事務事業の課題と改善 | ボランティアの確保と支援内容の広がりが課題。ＣＳの意向を受けて、実際に活動できる地域づくりと人づくりを進めていく必要がある。また、ボランティアと学校との事前打合せが必要である。 |
| | 総合評価 | 必要性：■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い<br>学校の活動をより良いものにするために、地域の力を活用する仕組みは必要性が高い。 |
| | | 有効性：■有効性は高い　□有効性はやや高い　□有効性は低い<br>地域の支援を得られることは、活動の質を高めることと地域の大人とのつながりをつくることができ、教育上有効に機能している。 |
| | | 効率性：■効率よく実施　□概ね効率よく実施　□効率が悪い<br>ＣＳとの関係が深い事業であることから、ボランティアとの連絡調整がコーディネーターを通じ、学校と連携し実施できている。 |
| | | 達成度：■達成　□ほぼ達成　□未達成<br>ボランティアの育成と子どもの教育活動の充実が共に達成されている。 |
| 今後の方向性 | 事業規模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 |
| | ＣＳの一層の発展による「地域の学校」の実働事業として、活動を維持していく。そのため、コーディネーターの配置を行い、学校やボランティアのつながりを維持していくことが必要不可欠である。 | |
| その他 | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区　　分 | 社会教育 | | | 項目番号 |
|---|---|---|---|---|
| 項　　目 | 住民の主体的な学習活動の支援 | | | 20 |
| 事務事業名 | 体験活動の機会づくり | | | |
| 事　業　費 | 180,000 円 | 担　当 | 住民学習推進係 | |
| 事務事業の概要 目的 | 高校生が地域社会に対する理解や関心を深めるとともに、地域社会の課題について学ぶ。 | | | |
| 事務事業の概要 取組の概要 | 令和７年度第６９回北海道公民館大会inあばしり参加<br><br>期　間：令和７年１０月１６日～１０月１７日<br>会　場：網走市オホーツク文化交流センター<br>参加者：学生５名、教員１名<br>内　容：パネラー（テーマ：未来につながる公民館活動～高校生・大学生の事業参加から得られるもの～） | | | |
| 点検・評価結果 事務事業の効果 | 公民館大会に参加し、講師の方や様々な市町村の高校生と意見交換をすることで、地域社会の課題について学ぶ機会となり、町づくりや地域づくりについて考える機会となった。 | | | |
| 点検・評価結果 事務事業の課題と改善 | 現在、寿都高校の生徒は特別出演として、毎年公民館大会に出席し貴重な経験の場となる一方で、この経験を生かす場の創出や参加にかかる予算の確保が課題である。 | | | |
| 点検・評価結果 総合評価 | 必要性 | ■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い | | |
| | | これから社会に出ていく仮定で、地域社会の課題について考える機会は | | |
| | | 必要であるため、参加する必要性は高い。 | | |
| | 有効性 | □有効性は高い　■有効性はやや高い　□有効性は低い | | |
| | | 普段交流する機会が少ない大人達や他市町村の同世代の生徒と関わるこ | | |
| | | とで自分の考えを深める場となった。。 | | |
| | 効率性 | □効率よく実施　■概ね効率よく実施　□効率が悪い | | |
| | | 高校の教諭に参加学生の取りまとめを依頼し、意欲のある生徒を参加。 | | |
| | | させることが出来た | | |
| | 達成度 | ■達成　□ほぼ達成　□未達成 | | |
| | | 高校生がテーマに沿って、町づくり・地域づくりに関して自ら考え発言 | | |
| | | することが出来た。 | | |
| 今後の方向性 | 事　業　規　模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 | | |
| | 事業を実施することで、高校生が普段関わることの少ない大学の教授や同世代の高校生と関わることで、これから地域社会を担う人材として町づくりや地域づくりについて考える機会となるため、今後も事業を継続していく。 | | | |
| そ　の　他 | | | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区　　分 | 社会教育 | | | 項目番号 |
|---|---|---|---|---|
| 項　　目 | グローバル人材の育成 | | | 21 |
| 事務事業名 | イングリッシュキャンプの開催 | | | |
| 事　業　費 | 47,640 円 | 担　当 | 住民学習推進係 | |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目　的 | 外国人との交流を通して、言葉・文化の違いを体験し、より英語への関心を高めるとともに、国際理解教育の一環とする。授業の成果を発揮し、より積極的に会話できる語学力とコミュニケーション力を身につける。 |
| | 取組の概要 | 日時：１月１４日（水）<br>会場：倶知安町ニセコひらふ地区<br>対象：小学５～６年生<br>参加：２名（参考：令和６年度５名）<br>内容：スキー場に来ている外国人に対して、英語を用いて自分たちの考えた質問をしたり町の特産品をＰＲすることでコミュニケーション力を身に付ける。 |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | 外国人との交流を通して、言葉・文化の違いを体験し、より英語への関心を高めるとともに、国際理解教育の一環とする。授業の成果を発揮し、より積極的に会話できる語学力とコミュニケーション力を身につける。 |
| | 事務事業の課題と改善 | 令和７年度は本町の外国人英語指導員と教育委員会スタッフでサポートしながら実施した。以前は２日間の日程だったが、倶知安町付近の物価の高騰により１日の実施となり、そのためか参加人数も少なかった。児童に多く参加してもらえるよう、内容や実施場所に関しても検討が必要である。 |
| | 総合評価 | 必要性：■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い<br>学校で学んだ英語が実際に使えることを実感できる他、期間中に覚えた英単語を使う等、学習意欲の向上が見られるため必要性は高い。 |
| | | 有効性：■有効性は高い　□有効性はやや高い　□有効性は低い<br>外国人英語指導員の協力により活動をスムーズに行うことができ、有効な事業展開ができている。 |
| | | 効率性：□効率よく実施　■概ね効率よく実施　□効率が悪い<br>事前準備の点では業務量は多くなっているが、事前に連絡を取りスムーズに実施できているため、作業工程を継続していく。 |
| | | 達成度：■達成　□ほぼ達成　□未達成<br>自分の英語が通じることを体験し、意欲的に外国人とコミュニケーションをとる様子が見られることから、達成していると考える。 |
| 今後の方向性 | 事業規模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 |
| | | 倶知安町及びニセコ町付近での事業は、多くの外国人がいることや目的達成のための環境があることから、寿都の子どもの英語力を向上させる事業として、継続して実施する。 |
| その他 | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区　　分 | 社会教育 | | | 項目番号 |
|---|---|---|---|---|
| 項　　目 | 読書環境の整備 | | | 22 |
| 事務事業名 | 文化センター図書室の充実 | | | |
| 事　業　費 | 5,687,406 円 | 担　当 | 住民学習推進係 | |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目　的 | 総合文化センター図書室を誰もが読書をできる環境として整備し、町民の学習活動支援や潤いある生活の一助となる環境とする。読書活動は子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないもの（「子どもの読書活動の推進に関する法律」第２条）であり、子どもが自主的に読書活動を行うことができる環境を整備する。 |
| | 取組の概要 | ・図書運営員（２名）の配置<br>・古い図書の除籍及び定期的な新刊の購入と配架<br>・町内小中学生を対象としたブックラリーの実施<br>・学校へ図書を定期的に貸し出す「移動図書」の実施（月１回）<br>・ブックフェスティバルの開催<br>・年間来場者数：３，０８２名（参考：令和６年度３，２４３名） |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | 本棚の配置換え等、利用者が利用しやすい読書環境を整備することができた。古い本を除籍することで、見やすい本の展示に幅が広がった。広報で新刊の紹介を行うことで、利用者が図書室に足を運ぶきっかけづくりを行った。 |
| | 事務事業の課題と改善 | ブックフェスティバル等のイベント行事や学校との連携など、図書室へ来るきっかけや魅力ある環境づくりのＰＲにより、利用促進に努める必要がある。 |
| | 総合評価 | 必要性：■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い<br>町民の読書環境整備は、学習環境として欠かせないものである。 |
| | | 有効性：□有効性は高い　■有効性はやや高い　□有効性は低い<br>利用者からのリクエストに可能な限り応えながら、新刊の購入や配架、古い図書の除籍等整備を行っている。 |
| | | 効率性：■効率よく実施　□概ね効率よく実施　□効率が悪い<br>利用統計を基に、円滑な運営ができている。 |
| | | 達成度：□達成　■ほぼ達成　□未達成<br>図書室の規模として、利用しやすい環境になっている。 |
| 今後の方向性 | 事　業　規　模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 |
| | | 利用促進のため、町民のニーズを把握する他、ブックフェスティバル等のイベントの開催、町民が足を運ぶきっかけづくりを積極的に行っていく。また、図書システムの導入により町民に利用しやすい図書室になるよう努める。 |
| その他 | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区　　分 | 運動・健康づくりの推進 | | 項目番号 |
|---|---|---|---|
| 項　　目 | 生涯スポーツ活動の促進 | | 23 |
| 事務事業名 | 体育団体への支援 | | |
| 事　業　費 | 987,000円 | 担　当 | 住民学習推進係 |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目　的 | 町民の自主的なスポーツ活動を促進し、技術の向上や健康・体力の維持増進、並びにスポーツ活動を通した仲間づくり。 |
| | 取組の概要 | 寿都町スポーツ協会に対する活動費の支援、スポーツ活動環境の提供。 |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | 活動費の支援や環境の提供により、団体それぞれにスポーツ活動の円滑な促進が図られた。 |
| | 事務事業の課題と改善 | 環境整備において、より利用しやすい環境となるように可能な限り団体からの要望を把握し整備に努めながら、各施設の清掃やシーズン準備と片付けなど団体ができる範囲で協力してもらうよう促すなど、自助努力の意識付けが必要。<br>各スポーツ単体の活動で精一杯であり、町のスポーツ振興や促進のため組織のあり方について、役員と協議が必要である。 |
| | 総合評価 | |

| 総合評価 | | |
|---|---|---|
| 必要性 | ■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い | |
| | 地域の自主的な活動によるスポーツ振興に対して適切な支援が必要ではあるが、支援に頼らない自主性を高めることが必要である。 | |
| 有効性 | □有効性は高い　■有効性はやや高い　□有効性は低い | |
| | 補助金やスポーツ環境を提供することで、円滑で充実したスポーツ活動が実施されている。 | |
| 効率性 | □効率よく実施　■概ね効率よく実施　□効率が悪い | |
| | 行政が提供する補助や環境の範囲内で、地域スポーツ活動が実施されている。 | |
| 達成度 | □達成　■ほぼ達成　□未達成 | |
| | 団体が要望する補助や環境を概ね提供できている。 | |

| 今後の方向性 | 事　業　規　模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 |
|---|---|---|
| | 町民の自主的な運動習慣に資すること及び地域におけるスポーツ活動による子どもの体力向上に資するため、団体からの要望に可能な限り応えながら継続していく。 | |
| その他 | （補助額内訳）体育団体402,800円　スポーツ少年団584,200円 | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区　　分 | 運動・健康づくりの推進 | | 項目番号 |
|---|---|---|---|
| 項　　目 | 生涯スポーツ活動の促進 | | 24 |
| 事務事業名 | スポーツ教室の開催 | | |
| 事　業　費 | 157,500 円 | 担　当 | 住民学習推進係 |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目　的 | 誰もがスポーツに親しむことができるよう、また町民のニーズに応じた選択ができるようにスポーツ教室を開催することで、幅広い年齢層のスポーツ人口拡大や町民自らの健康管理促進、スポーツの習慣化を図る。 |
| | 取組の概要 | ・ジュニア水泳教室　全５回<br>講　師：水泳ボランティア<br>参加者：１０名　　延べ数：３２名<br><br>・小学校１～３年生スキー教室　全４回<br>講　師：寿都スキー連盟<br>参加者：３１名　延べ数：１０４名 |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | 児童がスポーツの楽しさを実感すると同時に、運動による健康づくりについて興味・関心を持たせる機会となった。 |
| | 事務事業の課題と改善 | 特に水泳教室に関して、ボランティアの年齢層も上がってきていることから、新規のボランティア発掘の必要性がある。 |
| | 総合評価 | 必要性：■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い<br>日常的な運動習慣のきっかけとして教室を開設する必要性は高い。<br><br>有効性：□有効性は高い　■有効性はやや高い　□有効性は低い<br>教室終了が運動習慣の終了となっているケースが多いため、運動習慣を定着させる工夫や呼びかけが必要である。<br><br>効率性：■効率よく実施　□概ね効率よく実施　□効率が悪い<br>地域の人材を講師とすることで、地域のスポーツ活動との関係性を築くことにもつながっている。<br><br>達成度：□達成　■ほぼ達成　□未達成<br>参加者にスポーツの楽しさについて伝える機会となった。 |
| 今後の方向性 | 事　業　規　模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 |
| | | 参加者の日常的な運動習慣の定着や健康づくりのため、事業を維持していく。 |
| その他 | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区　　分 | 運動・健康づくりの推進 | | 項目番号 |
|---|---|---|---|
| 項　　目 | 生涯スポーツ活動の促進 | | 25 |
| 事務事業名 | 体育施設の利用促進 | | |
| 事　業　費 | ０円 | 担　当 | 住民学習推進係 |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目　的 | 町民の健康づくりに資するため総合体育館を拠点とし、幅広く町民の運動機会を拡大していく。 |
| | 取組の概要 | ・健康運動教室及びイベントの開催<br>・ウォーキングデッキの早朝開放等<br>・町民プールの料金無料化（Ｈ２５～）<br>・風太公園ソフトボール場照明料の町内体育団体無料化（Ｈ２８～）<br>・テニスコート及び町民スキー場の使用料無料化（Ｈ３０～） |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | 新たな事業や施設整備により、体育施設の利用促進が図られた。<br>総合体育館利用者　２４，４１３名（参考：令和６年度２４，０９３名）<br>町民プール利用者　６，７６８名（参考：令和６年度　６，６５６名）<br>風太公園ソフトボール場・多目的グラウンド利用者<br>９４１名（参考：令和６年度　１，６７５名）<br>テニスコート利用者　１，８３３名（参考：令和６年度　２，４０４名） |
| | 事務事業の課題と改善 | 運動人口の増加に向け、体育施設を利用する町民・団体の利用日程や時間等が重複しないよう慎重に調整を図る必要がある。 |
| | 総合評価 | 必要性：■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い<br>日常的な運動習慣による町民の健康づくりのため、利用促進を図る必要性は高い。<br>有効性：□有効性は高い　■有効性はやや高い　□有効性は低い<br>新たな運動教室の開設等、町民のニーズに応えられる環境整備を行い、これまで運動習慣のなかった町民の利用もみられた。<br>効率性：□効率よく実施　■概ね効率よく実施　□効率が悪い<br>新たな教室の実施委託や町内団体によるイベントの開催等、各所と連携しながら実施した。<br>達成度：□達成　■ほぼ達成　□未達成<br>熊の目撃情報により、風太公園での活動を自粛する団体もあったが、その他の施設では概ね町民の利用促進が図られた。 |
| 今後の方向性 | 事　業　規　模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 |
| | | 既存の体育館利用団体との調整を図るとともに、利用促進に資する教室などのＰＲを強化しながら、さらに利用促進を図っていく。 |
| その他 | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区分 | 運動・健康づくりの推進 | | 項目番号 |
|---|---|---|---|
| 項目 | 運動による健康づくりの推進 | | 26 |
| 事務事業名 | 健康運動教室、イベントの実施 | | |
| 事業費 | 2,639,900円 | 担当 | 住民学習推進係 |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目的 | 町民の運動に対する意識を変え、ライフスタイルに運動習慣を定着させ、運動による健康づくりを促進する。 |
| | 取組の概要 | 北翔大学及びＮＰＯ法人ソーシャルビジネス推進センターへの委託事業。健康運動指導士などの専門指導者による運動教室及びイベントの実施。<br>運動教室事業（延べ４０回）　延べ参加者　合計　４３０名<br>＜からだシリーズ～やわらかからだ・汗をかく！サーキットトレーニング・動きを鍛える！サーキットトレーニング・からだシリーズ～姿勢と動き～・姿勢と動きのサーキットトレーニング・水中運動＞<br><br>運動イベント<br>＜いきいき元気度測定会＞参加者数４９名（参考：Ｒ６年度６６名）<br>＜健康運動フェア＞　参加者数２０名（参考：Ｒ６年度２３名）<br>＜さわやか運動会＞　荒天により中止（参考：Ｒ６年度３２名） |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | 日常的に体育館を活用し（教室参加者含む）、運動習慣が定着した町民が増加している。教室の参加者から体の不調が改善したという声もあり、継続的な運動の効果が実感されている。町民が体育館に足を運ぶ機会を増やし、多世代間交流を深める目的は達成された。 |
| | 事務事業の課題と改善 | 教室開催中は運動習慣を定着で来ているが、教室が休みの期間に習慣が崩れるため、継続できる働きかけが必要である。 |
| | 総合評価 | 必要性：■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い<br>町民の運動習慣を定着させるため、ニーズのある教室・イベントの開催が必要である。 |
| | | 有効性：□有効性は高い　■有効性はやや高い　□有効性は低い<br>教室開催期間中の参加者の運動習慣は確保されている。 |
| | | 効率性：■効率よく実施　□概ね効率よく実施　□効率が悪い<br>北翔大学やＮＰＯと提携し、専門の指導者による教室を通年で開催できている。 |
| | | 達成度：□達成　■ほぼ達成　□未達成<br>教室参加者の健康づくり意識は向上しているが、病気改善などで運動が必要な町民の参加につながるよう、関係部局と連携し参加拡大を図る。 |
| 今後の方向性 | 事業規模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 |
| | | 継続事業として、イベントを通して多世代間交流や運動教室を通して運動習慣の定着は図られた。しかし、教室がない期間の定着には繋がっていないため、1人でも運動できるような働きかけを、指導者と協議し行っていく。 |
| その他 | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 区　　分 | 健康・スポーツ | | | 項目番号 |
| 項　　目 | 食育と学校給食 | | | 27 |
| 事務事業名 | 食育の推進 | | | |
| 事　業　費 | 0円 | 担　当 | 食育センター業務係 | |
| 事務事業の概要 目的 | 児童生徒に対して、食材の生産から店頭販売までの流通や、給食ができるまでの人の関わりを紹介、命をいただくことへの感謝など、食育を通して健康と食生活習慣の向上を図る。 | | | |
| 事務事業の概要 取組の概要 | 各小中高校での栄養教諭による給食指導や、寿都高校での食中毒防止の講習会を行うなど、食育の推進を図る。地産地消による町内食材の紹介、提供、町内生産者の紹介、給食メモによる話題の提供を行う。 | | | |
| 点検・評価結果 事務事業の効果 | 各小中高校への給食を通した１日の食生活バランス、給食の必要性と食材を通した体への関わり、生産・流通を通した人と人の関わり、食材の大切さを伝えた。 | | | |
| 点検・評価結果 事務事業の課題と改善 | 食育センターや各小中高校での授業・指導、また、教育局や保健所による給食指導など、児童生徒への給食事業が増加しているため、限られた時間のなかでの調整、内容の検討を含めた工夫が必要。 | | | |
| 点検・評価結果 総合評価 必要性 | ■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い<br>児童生徒の健康・体力向上の基礎となる食育については必要性は高い。 | | | |
| 有効性 | ■有効性は高い　□有効性はやや高い　□有効性は低い<br>食育について、生産者・物流・小売・調理など、人との関わりを理解するための有効性は高い。 | | | |
| 効率性 | ■効率よく実施　□概ね効率よく実施　□効率が悪い<br>献立表による児童生徒の家庭への提示により、学校での栄養量を示し家庭での食事について関わりができている。 | | | |
| 達成度 | ■達成　□ほぼ達成　□未達成<br>授業や給食指導による残食量の減少は顕著に現れ成果を上げている。 | | | |
| 今後の方向性 | 事業規模　□拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小<br>各学校への指導時間について、授業の資料を活用するなど内容の充実を図っていく。 | | | |
| そ　の　他 | | | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区　　分 | 健康・スポーツ | | | 項目番号 |
|---|---|---|---|---|
| 項　　目 | 食育と学校給食 | | | 28 |
| 事務事業名 | 食育センターの運営 | | | |
| 事　業　費 | 44,371,252 円 | 担　当 | 食育センター業務係 | |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目　的 | 食育及び木育の推進、児童生徒へ安心安全な食材を使用した給食の提供。 |
| | 取組の概要 | ・給食運営委員会及び給食担当者会議（年２回開催）<br>・食材の動線図・作業工程表の作成<br>・清掃作業の徹底、作業準備確認、作業前後の調理器具・機材点検（複数名体制）<br>・業者による機械設備等の点検・修繕<br>・食材費等物価高騰対策支援（町補助）<br>・地元食材の提供（地産地消食材提供９３回・ベーカリー寿のパン提供１４回）<br>・町内での生産食材の紹介及び提供<br>・学校給食を通しての郷土料理、行事食の紹介 |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | ・異物混入の減少、各学校への迅速な連絡体制が確立できた。<br>・動線を示すことで食材の動きを見える化し、さらに清掃作業を徹底したことで食中毒の防止が図られた。<br>・食材費等物価高騰分を補助することによって保護者負担の軽減が図られた。 |
| | 事務事業の課題と改善 | ・研修等への参加、資格取得を活用し、調理員の知識・技術・意欲向上を図る。<br>・令和８年度から公会計化し、経理面の管理・監督体制の機能を充実させる。<br>・調理員、配送員の確保<br>・限られた予算・人員で栄養バランスのとれたメニュー（献立）づくり、食材の選定、調理工程の効率化。 |
| | 総合評価 | |

| 総合評価 | | |
|---|---|---|
| 必要性 | ■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い | |
| | 安心安全で、栄養バランスのとれた給食を安定的に提供するため、食育センターによる一元的に管理できる施設での調理・提供が必要。 | |
| 有効性 | ■有効性は高い　□有効性はやや高い　□有効性は低い | |
| | 栄養バランスに配慮した給食を継続的、安定的に提供することで、児童生徒の健全な成長と健康の保持増進に有効である。 | |
| 効率性 | ■効率よく実施　□概ね効率よく実施　□効率が悪い | |
| | 道産食材中心の食材調達、調理、衛生管理を食育センターに集約することで、限られた人員や財源を活用し一定の水準と品質を確保できている。 | |
| 達成度 | □達成　■ほぼ達成　□未達成 | |
| | 安全衛生管理の徹底、年間を通した安定的・栄養バランスのとれた給食を提供できているが、給食の配送業務や調理員の人材確保に課題がある。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 今後の方向性 | 事　業　規　模 | □拡大　■やや拡大　□維持　□やや縮小　□縮小 |
| | 歯止めがかからない物価高騰に対するメニューや食材調達を駆使しているが、やりくりが限界に及んでいるため、給食費について検討が必要である。 | |
| そ　の　他 | 児童生徒の食の研修・実習・講習の場としての活用を図る。 | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区　　分 | 文化の伝承・振興 | | | 項目番号 |
|---|---|---|---|---|
| 項　　目 | 地域文化の振興 | | | 29 |
| 事務事業名 | 総合文化祭の開催 | | | |
| 事　業　費 | 56,600 円 | 担　当 | 文化推進係 | |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目　的 | 町民の文化活動への参加、地域文化の交流発展のため、また町民の目に触れることによる文化団体の組織強化、活動推進を図るため開催する。 |
| | 取組の概要 | 期間：１０月３０日（木）～１１月３日（月）（芸能発表：１１月２日（日）） |
| | | 会場：寿都町総合文化センター |
| | | 内容：作品展、物産展、キッチンカー、芸能発表、体験教室、スタンプラリー、喫茶、もちまき等 |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | 出演者にとって年に１度の町内発表の場として各団体の目標となり、活動意欲の向上につながった他、出展者の中には本事業での収益が活動費の大部分を占めている団体もある。文団連との共催により、それぞれの団体が当事者意識を持ち開催するため、団体活動の自主性を育む機会となった。 |
| | 事務事業の課題と改善 | 個人や団体、町外団体、作品展、芸能発表などの参加者数は増加しているが、芸能発表の観賞者は減少傾向にある。餅まきをうまく活用し、盛り上がる内容にする。 |
| | 総合評価 | 必要性：■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い<br>年に一度の文化活動の目標として必要な事業である。 |
| | | 有効性：■有効性は高い　□有効性はやや高い　□有効性は低い<br>文団連の活動が活発になるとともに、町民が文化祭において展示や発表を見て地域の文化に触れることで教養の向上が図られている。 |
| | | 効率性：□効率よく実施　■概ね効率よく実施　□効率が悪い<br>各団体や多くの町民と関わりをもって一つの文化祭を創り上げることができ、発表者や来場者の増加につながっている。 |
| | | 達成度：■達成　□ほぼ達成　□未達成<br>来場し展示や発表等を見ることで、町民が文化にふれる機会となっている。今後も文化団体の活性化につなげていきたい。 |
| 今後の方向性 | 事　業　規　模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 |
| | | 引き続き幅広い分野から参加を呼びかけ、誰もが気軽に参加できる環境を検討する。また、町民が創り上げる文化祭をより魅力的にＰＲする内容について検討し継続する。 |
| その他 | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区　　分 | 文化の伝承・振興 | | | 項目番号 |
|---|---|---|---|---|
| 項　　目 | 地域文化の振興 | | | 30 |
| 事務事業名 | 芸能鑑賞事業の開催 | | | |
| 事　業　費 | 922,871 円 | 担　当 | 文化推進係 | |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目　的 | 町民が生の芸術文化に触れる機会を提供し、芸術文化への関心を高めるとともに、生活の中に心の豊かさとゆとりを持つ大切さを実感してもらう。 |
| | 取組の概要 | 町民有志で組織する寿都町文化振興事業実行委員会を実施主体（主催）とする舞台の開催。<br><br>公演名：和心ブラザーズwithきり紙&マジックコンサート<br>日　時：令和７年９月２５日<br>入場者：２２８名 |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | 芸能に触れる機会として、町民にステージを通して元気と活力を与えることができており、また、実行委員会形式で開催し、町民が主体となって当事者意識を持ち町づくりに参画する人材育成の機会ともなっている。 |
| | 事務事業の課題と改善 | 実行委員の固定化や長く実行委員をやっている方からは、世代交代が必要との意見がでているため、新たな人材の発掘が必要である。 |
| | 総合評価 | |

| 総合評価 | | |
|---|---|---|
| 必要性 | ■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い | |
| | 町民へ質の高い芸能文化を届けることは、町の文化振興にとって必要性が高い。 | |
| 有効性 | ■有効性は高い　□有効性はやや高い　□有効性は低い | |
| | 実行委員会が主体となることで、地域に参画する人材育成の場としても有効である。 | |
| 効率性 | □効率よく実施　■概ね効率よく実施　□効率が悪い | |
| | 行政主導ではなく実行委員会で十分に協議し、実行委員会が主体として実施している。 | |
| 達成度 | □達成　■ほぼ達成　□未達成 | |
| | 子どもから大人まで、多くの町民が芸能文化に触れる機会となった。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 今後の方向性 | 事　業　規　模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 |
| | 限られた予算の中で多くの芸術文化に触れる機会を得られるよう工夫する。 | |
| その他 | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区　　分 | 文化の伝承・振興 | | 項目番号 |
|---|---|---|---|
| 項　　目 | 地域文化の振興 | | 31 |
| 事務事業名 | 文化団体連絡協議会への支援 | | |
| 事　業　費 | 247,375 円 | 担　当 | 文化推進係 |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目　的 | ゆとりと生きがいのある人生を過ごすためには、自ら主体的に学び自己を高め心豊かなことが大切であり、地域社会とのつながりを持ちながら活動し、公共性やボランティア意識の高い町民を養成するため、社会教育団体に助成支援を行う。 |
| | 取組の概要 | 文化団体連絡協議会へ活動費の支援や、活動環境の提供。 |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | 町民の自主的な文化活動により、町の文化振興発展が図られたと同時に、活動を通して生活に張りや活力、潤いを持たせることができた。 |
| | 事務事業の課題と改善 | 高齢化による会員不足により、団体として活動を維持できず休会や活動の停滞傾向が目立つ。新規団体の文団連加入を促進し、自主活動の母体強化を図る必要がある。 |
| | 総合評価 | 必要性：■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い<br>文化団体連絡協議会は町の文化振興発展の担い手であり、支援を行っていく必要性は高い。 |
| | | 有効性：■有効性は高い　□有効性はやや高い　□有効性は低い<br>活動環境や補助金による支援により、文化活動を維持・運営することができている。 |
| | | 効率性：■効率よく実施　□概ね効率よく実施　□効率が悪い<br>支援することで、円滑な自主活動ができている。 |
| | | 達成度：□達成　■ほぼ達成　□未達成<br>自主的な文化活動を実施できているが、一方で各団体ともに次世代の担い手不足や高齢化、会員不足等の組織の衰退が目立つ。 |
| 今後の方向性 | 事　業　規　模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 |
| | これまでと同様に支援を継続すると同時に、新規会員の加入や新規団体の加入など基盤強化についての方策を検討する。 | |
| その他 | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区　　分 | 文化の伝承・振興 | | | 項目番号 |
|---|---|---|---|---|
| 項　　目 | 文化財の保護・活用 | | | 32 |
| 事務事業名 | 歴史的資源の保存活用 | | | |
| 事　業　費 | 7,612,625 円 | 担　当 | 文化推進係 | |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目　的 | 国指定史跡及び道指定有形文化財である「カクジュウ佐藤家」や歴史的建造物の「橋本家」など、町の貴重な歴史的資源を後世へ継承するとともに、教育や観光等に活用し「歴史を活かしたまちづくり」を推進する。 |
| | 取組の概要 | ・佐藤家及び橋本家の維持管理<br>・寿都町歴史文化基本構想に基づき「寿都のお宝」の掘り起こしや調査等を行う体制を確立する。<br>・イベントの開催<br>佐藤家：＜佐藤家と歌棄越＞　参加者　１７名<br>＜文化財ピカピカ大作戦＞　参加者　１３名<br>＜佐藤家限定一般公開＞　参加者４２８名（延べ数）<br>＜灯日和＞　参加者　７名<br>橋本家：＜橋本家限定公開＞　参加者１３９名<br>（寿マルシェに合わせて公開） |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | 町が所有する文化財を適切に管理・整備し、一般公開へ向けた準備を行った。<br>すっつ湾お宝会議及びお宝勉強会が活動することで、町の魅力の再発見や寿都のお宝を広くＰＲすることができた。 |
| | 事務事業の課題と改善 | 佐藤家及び橋本家を早期に公開できるようよう環境整備を進める必要がある。町の歴史的資源を教育や観光等に活用し「歴史を活かしたまちづくり」を実現していく。 |
| | 総合評価 | 必要性：■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い<br>町の貴重な文化財等の保存・活用を図る必要性は高い。<br>有効性：■有効性は高い　□有効性はやや高い　□有効性は低い<br>体験学習や観光等の拠点として幅広く活用するため、文化財などの保存整備は有効性が高い。<br>効率性：□効率よく実施　■概ね効率よく実施　□効率が悪い<br>予算をかけることなく、複数回のイベントを実施することが出来た。<br>達成度：□達成　■ほぼ達成　□未達成<br>佐藤家・橋本家の魅力を町内外の方に知ってもらう機会を作ることが出来た。今後も多くの方に参加いただけるよう工夫をして実施したい。 |
| 今後の方向性 | 事　業　規　模 | □拡大　□やや拡大　■維持　□やや縮小　□縮小 |
| | | 文化財であるカクジュウ佐藤家や歴史的建造物の橋本家を一般公開し、町民をはじめ多くの方々に寿都の魅力を知ってもらう。歴史的資源を有効活用し、様々な施策へ反映させることで歴史や文化を後世に継承していく。 |
| そ　の　他 | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区分 | 生涯学習環境 | | 項目番号 |
|---|---|---|---|
| 項目 | 学校関連・社会教育関連・社会体育関連施設の整備 | | 33 |
| 事務事業名 | 社会教育、社会体育施設の管理運営 | | |
| 事業費 | 70,753,214円 | 担当 | 住民学習推進係 |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目的 | 町民の生涯学習推進やスポーツ振興、健康づくり促進のため、安全で充実した環境を提供するよう維持管理及び運営に努める。 |
| | 取組の概要 | 各施設の管理・維持運営<br>総合文化センター、総合体育館、町民プール、町民スキー場、テニスコート、風太公園ソフトボール場・多目的グラウンド、青少年研修会館、各地区会館、樽岸生涯学習研修会館、湯別自然学習会館 |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | 修繕等を行い安全で充実した施設設備を提供できた。調整会議を行い各団体や町民が幅広く利用できる環境をつくり運営できた。 |
| | 事務事業の課題と改善 | 各施設、不具合箇所を適切に把握し計画的に改修を行い、利用者の使いやすい環境整備等を推進していく。 |
| | 総合評価 | 必要性：■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い<br>町民の学習、スポーツ・運動の活動場を安全で利用しやすい施設環境に維持することが不可欠である。 |
| | | 有効性：■有効性は高い　□有効性はやや高い　□有効性は低い<br>利用しやすい環境とシステムがあることにより、町民が主体的に活動する意欲が高まり、活動促進につながっている。 |
| | | 効率性：□効率よく実施　■概ね効率よく実施　□効率が悪い<br>各施設必要に応じて修繕を行う事が出来た。 |
| | | 達成度：□達成　■ほぼ達成　□未達成<br>利用者にとって概ね満足度の高い活動環境として管理運営できている。 |
| 今後の方向性 | 事業規模 | ■拡大　□やや拡大　□維持　□やや縮小　□縮小 |
| | 建設から十数年以上経っている施設が多いため、必要に応じて修繕等行っていく。 | |
| その他 | | |

別記様式１

# 点検・評価調書

| 区分 | 生涯学習環境 | | | 項目番号 |
|---|---|---|---|---|
| 項目 | 学校関連・社会教育関連・社会体育関連施設の整備 | | | 34 |
| 事務事業名 | 文化センター大規模改修の実施 | | | |
| 事業費 | 165,825,000円 | 担当 | 住民学習推進係 | |

| | | |
|---|---|---|
| 事務事業の概要 | 目的 | 建設から３０年以上経過し、老朽化が著しい総合文化センターの改修を行う。 |
| | 取組の概要 | 外壁と窓及び設備等の改修工事<br>・令和５年度：実施設計<br>・令和６年度：エレベーター改修、エアコン設置（４台）<br>・令和７年度：外壁と窓（ロビー・ギャラリー・事務所・図書室）の改修 |
| 点検・評価結果 | 事務事業の効果 | 改修工事を行い安全で充実した施設設備を提供できた。 |
| | 事務事業の課題と改善 | ３０年以上が経過しているため設備等の経年劣化が激しい。不具合箇所を適切に把握し計画的に大規模改修を行い維持を図っていく。 |
| | 総合評価 | 必要性：■必要性は高い　□必要性はやや高い　□必要性は低い<br>町民の生涯学習の活動場として、安全で利用しやすい施設環境に維持することが不可欠である。<br>有効性：■有効性は高い　□有効性はやや高い　□有効性は低い<br>施設の改修を行うことで、町民が主体的に活動する意欲が高まり、活動促進につながっている。<br>効率性：□効率よく実施　■概ね効率よく実施　□効率が悪い<br>実施設計に基づき、優先順位を決めて実施できた。<br>達成度：□達成　■ほぼ達成　□未達成<br>物価高騰の影響もあるが、ほぼ計画通りに改修を行うことが出来ている。 |
| 今後の方向性 | 事業規模 | ■拡大　□やや拡大　□維持　□やや縮小　□縮小 |
| | | 総合文化センター<br>・実施設計に基づき計画的に改修を進めていく。 |
| その他 | | |

## 7　全体評価について

令和７年度の寿都町教育委員会の権限に属する事務及び事業について、町並びに町議会の深い御理解により、寿都町教育行政執行方針に基づき、遂行することができましたことに感謝申し上げます。

ここでは、６つの項目により、その執行状況の全体的な評価をしております。

家庭教育では、町民課健康づくり係と連携し乳幼児健康診断等を活用して、就学前の子とその保護者が抱える悩みやニーズを元に必要な学習機会を提供しました。これにより、家庭教育に対する意識を高め、家庭での取組みを促進することが出来ました。

学校教育では、一人ひとりの個別最適な学びの実現と、「信頼される学校づくり」を目指して、各学校においてそれぞれの取り組みを行いました。

一人一台端末の更新による学習環境の維持・向上、通級指導教室の開設による個々の教育的ニーズに応じた支援体制の整備、また、小・中・高校の連携による１２年間の学びを見通した教育活動に取り組むことで、校種間の円滑な接続と、児童生徒の学力向上や自己実現につながる継続的な学びの充実を図ることが出来ました。

さらに、コミュニティ・スクール活動を通して、地域と学校との連携・協働が進み、地域の教育力を生かしながら、地域全体で子どもたちの学びと成長を支える教育の体制が構築され、継続的な支援の基盤が整ってきました。

社会教育では、放課後子ども教室などの青少年教育から総合文化祭の開催などを通じ、子どもから高齢者まで生涯にわたって学び、交流できる機会を提供することで、学ぶ意欲や人と人とのつながりを育み、学びを地域や暮らしの中で活かせる機会の充実につなげることができました。

運動・健康づくりでは、年間を通して各種健康・運動教室の開催により、年齢や体力に応じて気軽に運動できる機会を提供し、生活の中に無理なく運動を取り入れる習慣づくりを進めることで、健康意識の向上を図ることが出来ました。

文化の伝承・振興では、教育活動や観光業等に活用するための整備計画の策定は休止しておりますが、「漁場建築佐藤家」の一般公開や関連イベント等を開催することで、町民が地域の文化や歴史に触れる機会を創出し、文化財の認知度向上とその価値への理解を深め、将来にわたる保存・伝承に対する意識の醸成につなげることができました。

生涯学習環境では、各種学習施設の安全・安心な利用環境の確保に向け、必要な改修や設備の充実を図りました。特に、築３０年以上を経過した総合文化センターについては、老朽化が著しいことから、年次計画に基づき計画的な改修を行うことで施設の長寿命化と利用者の利便性・快適性の向上を図ってまいります。

この度の評価を基に、課題の改善や効果的な推進に向けて、担当係を中心に関係組織・機関、首長部局とも十分に協議・連携しながら、寿都町の教育振興の更なる発展に繋げてまいります。

令和８年９月

寿都町教育委員会
教育長　苅屋正人

学校の児童生徒・教職員数

令和７年５月１日現在

児童生徒数

| 学　校　名 | １年 | ２年 | ３年 | ４年 | ５年 | ６年 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 寿都小学校 | 6 | 6 | 10 | 10 | 9 | 13 | 54 |
| 潮路小学校 | 4 | 6 | 5 | 4 | 6 | 10 | 35 |
| 小学校　計 | 10 | 12 | 15 | 14 | 15 | 23 | 89 |
| 寿都中学校 | 25 | 17 | 15 | | | | 57 |

教職員数

（道費負担職員）

| 学　校　名 | 教職員 | 養護教諭 | 栄養教諭 | 事務員 | 非常勤講　師 | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 寿都小学校 | 9 | 1 | 1 | 1 | | 12 |
| 潮路小学校 | 8 | 1 | | 1 | | 10 |
| 寿都中学校 | 12 | 1 | | 1 | | 14 |

（町費負担職員）

| 学　校　名 | 学　習支援員 | 校務補 | 合　計 |
|---|---|---|---|
| 寿都小学校 | 2 | 1 | 3 |
| 潮路小学校 | 3 | 1 | 4 |
| 寿都中学校 | | 1 | 1 |

# 令和7年度　社会教育施設利用人数一覧

| | ウィズコム | | | ウィズコム展示室 | | | ウィズコム図書室 | | | ウィズコム合計 | | | 総合体育館 | | | 風太公園多目的グラウンド | | | 風太公園ソフトボール場 | | | テニスコート | | | 町民プール | | | 町民スキー場 | | | 寿都小学校 | | | 寿都中学校 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | R7 | R6 | 比較 | R7 | R6 | 比較 | R7 | R6 | 比較 | R6 | R5 | 比較 | R7 | R6 | 比較 | R7 | R6 | 比較 | R7 | R6 | 比較 | R7 | R6 | 比較 | R7 | R6 | 比較 | R6 | R5 | 比較 | R7 | R6 | 比較 | R7 | R6 | 比較 |
| 4月 | 402 | 376 | 26 | 22 | 33 | △ 11 | 217 | 316 | △ 99 | 641 | 725 | △ 84 | 1,946 | 2,334 | △ 388 | 0 | 30 | △ 30 | 16 | 74 | △ 58 | 165 | 225 | △ 60 | 599 | 463 | 136 | | | | 93 | 67 | 26 | 156 | 141 | 15 |
| 5月 | 716 | 760 | △ 44 | 40 | 41 | △ 1 | 218 | 250 | △ 32 | 974 | 1,051 | △ 77 | 2,035 | 2,321 | △ 286 | 267 | 151 | 116 | 94 | 136 | △ 42 | 340 | 430 | △ 90 | 701 | 648 | 53 | | | | 24 | 27 | △ 3 | 88 | 106 | △ 18 |
| 6月 | 616 | 526 | 90 | 35 | 32 | 3 | 164 | 270 | △ 106 | 815 | 828 | △ 13 | 1,729 | 1,987 | △ 258 | 112 | 114 | △ 2 | 106 | 231 | △ 125 | 281 | 392 | △ 111 | 572 | 559 | 13 | | | | 24 | 5 | 19 | 93 | 70 | 23 |
| 7月 | 1,827 | 852 | 975 | 101 | 32 | 69 | 278 | 264 | 14 | 2,206 | 1,148 | 1,058 | 1,477 | 1,928 | △ 451 | 70 | 204 | △ 134 | 95 | 168 | △ 73 | 230 | 312 | △ 82 | 1,089 | 1,022 | 67 | | | | 66 | 44 | 22 | 31 | 68 | △ 37 |
| 8月 | 959 | 541 | 418 | 108 | 109 | △ 1 | 298 | 281 | 17 | 1,365 | 931 | 434 | 1,568 | 1,809 | △ 241 | 0 | 128 | △ 128 | 119 | 129 | △ 10 | 252 | 315 | △ 63 | 1,067 | 1,000 | 67 | | | | 20 | 58 | △ 38 | 81 | 85 | △ 4 |
| 9月 | 704 | 967 | △ 263 | 89 | 46 | 43 | 254 | 235 | 19 | 1,047 | 1,248 | △ 201 | 1,780 | 2,128 | △ 348 | 0 | 128 | △ 128 | 51 | 129 | △ 78 | 358 | 315 | 43 | 506 | 512 | △ 6 | | | | 45 | 0 | 45 | 29 | 42 | △ 13 |
| 10月 | 2,143 | 1,951 | 192 | 68 | 21 | 47 | 310 | 304 | 6 | 2,521 | 2,276 | 245 | 1,691 | 1,923 | △ 232 | 0 | 48 | △ 48 | 11 | 5 | 6 | 207 | 415 | △ 208 | 531 | 605 | △ 74 | | | | 59 | 28 | 31 | 60 | 136 | △ 76 |
| 11月 | 2,007 | 2,041 | △ 34 | 12 | 28 | △ 16 | 378 | 457 | △ 79 | 2,397 | 2,526 | △ 129 | 1,748 | 2,140 | △ 392 | | | | | | | | | | 519 | 504 | 15 | | | | 185 | 169 | 16 | 138 | 192 | △ 54 |
| 12月 | 536 | 632 | △ 96 | 7 | 15 | △ 8 | 229 | 211 | 18 | 772 | 858 | △ 86 | 1,785 | 1,831 | △ 46 | | | | | | | | | | 465 | 401 | 64 | | | | 174 | 163 | 11 | 81 | 156 | △ 75 |
| 1月 | 747 | 736 | 11 | 10 | 9 | 1 | 220 | 194 | 26 | 977 | 939 | 38 | 1,175 | 1,678 | △ 503 | | | | | | | | | | 217 | 335 | △ 118 | 718 | 752 | △ 34 | 132 | 209 | △ 77 | 116 | 144 | △ 28 |
| 2月 | 1,523 | 491 | 1,032 | 22 | 16 | 6 | 260 | 216 | 44 | 1,805 | 723 | 1,082 | 1,443 | 1,794 | △ 351 | | | | | | | | | | 288 | 313 | △ 25 | 871 | 885 | △ 14 | 137 | 187 | △ 50 | 101 | 171 | △ 70 |
| 3月 | 826 | 558 | 268 | 25 | 50 | △ 25 | 256 | 245 | 11 | 1,107 | 853 | 254 | 2,036 | 2,220 | △ 184 | | | | | | | | | | 214 | 294 | △ 80 | 34 | 121 | △ 87 | 108 | 71 | 37 | 88 | 176 | △ 88 |
| 累計 | 13,006 | 10,431 | 2,575 | 539 | 432 | 107 | 3,082 | 3,243 | △ 161 | 16,627 | 14,106 | 2,521 | 20,413 | 24,093 | △ 3,680 | 449 | 773 | △ 324 | 492 | 798 | △ 306 | 1,833 | 2,404 | △ 571 | 6,768 | 6,656 | 112 | 1,623 | 1,758 | △ 135 | 1,067 | 1,028 | 39 | 1,062 | 1,487 | △ 425 |